

既設のまま	男子便所	3
既設のまま	女子便所	2
1期工事	階段	1
既設のまま	昇降ホール	1
既設のまま	HWC	1
既設のまま	2-321	1

1期工事	ホール	20
1期工事	物入	2
1期工事	1-1	6
1期工事	1-42	6
1期工事	3-41	2
1期工事	小人数	6
1期工事	3-41	2
1期工事	屋外階段	2
1期工事	1-22	4

1期工事	廊下	11
1期工事	1-5	6
1期工事	3-41	2
1期工事	1-3	6
1期工事	3-41	2
1期工事	第1職員室	3
1期工事	1-42	6
1期工事	3-41	2
1期工事	1-2	6
1期工事	3-41	2
1期工事	1女更衣室	3
1期工事	2-41	3

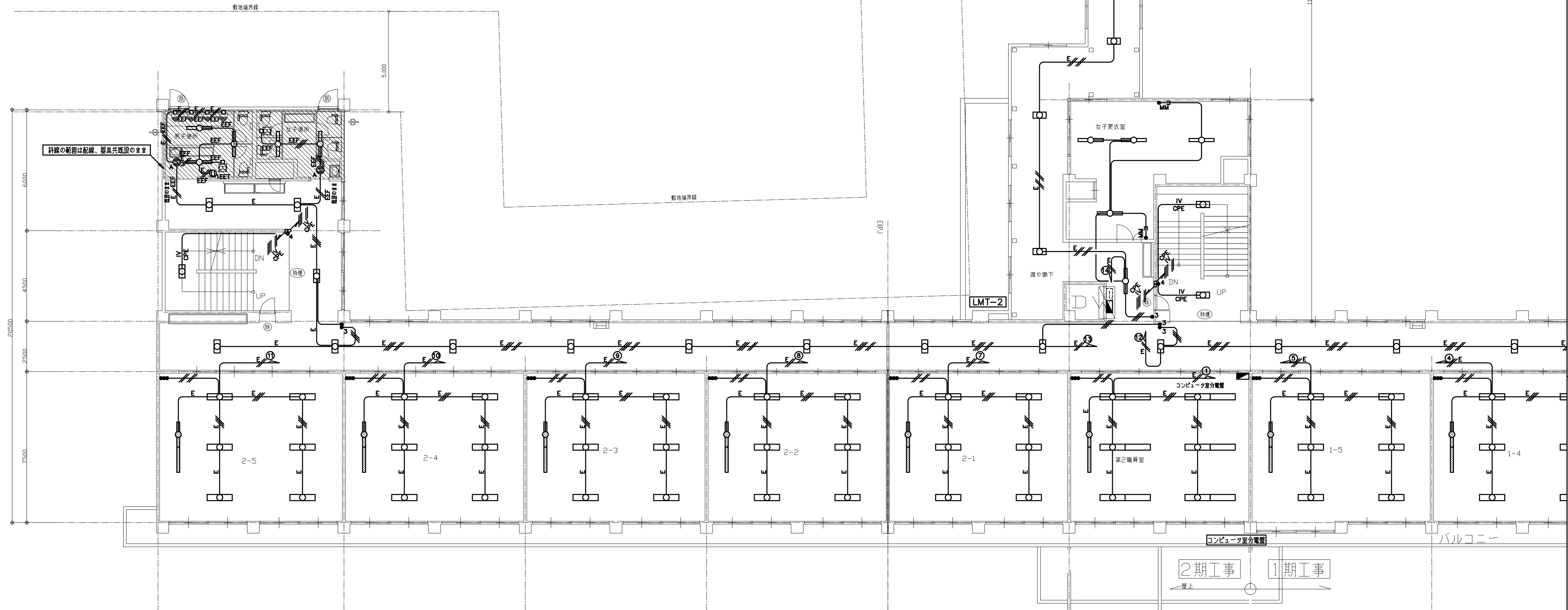
特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
"	"	1.6-2C	(PF16)
"	"	1.6-3C	(PF22)
"	"	1.6-2Cx2	(PF22)
"	"	1.6-2C+3C	(PF22)
"	VVF	1.6-2C	(コロガシ)
"	"	2.0-3C	1E (PF22)
"	"	1.6-3C	1E (PF22)
"	"	1.6-2Cx2	1E (PF22)
"	"	1.6-2C+3C	1E (PF22)
"	"	1.6-3Cx2	1E (PF22)
"	600V IV	2.0x2	(PF16)
"	"	1.6x4	(PF16)
"	"	1.6x3	(PF16)
"	"	1.6x2	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x2 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x3 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x6 E1.6	(PF22)
"	"	1.6x3	(PF16)
"	"	1.6x2 E1.6	(PF16)

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	CPE IV	600V IV	2.0x2 (E19)
"	"	"	1.6x2 (E19)
"	"	"	1.6x3 (E19)
"	"	"	1.6x5 (E25)
"	"	"	1.6x4 E1.6 (CP25)
"	"	"	1.6x3 (CP19)
"	"	"	1.6x2 E1.6 (CP19)
"	EEF	600V EM-EEF	1.6-2C (PF16)
"	"	"	2.0-3C 1E (PF22)
"	"	"	1.6-2Cx2 1E (PF22)

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。

既設撤去
2階平面図-1 1/100

既設のまま	2期工事	2期工事	2期工事	既設のまま
男子便所	廊下	2-3	第2職員室	渡り廊下
α-21	2-41	1-42	3-41	1-22
3	2-21	3-41	2	2期工事
既設のまま	2期工事	2期工事	2期工事	女子更衣室
女子便所	2-5	2-2	2-41	2-41
α-21	1-42	1-42	2	2期工事
2	3-41	3-41	2	階段
2期工事	2期工事	2期工事	2期工事	階段
階段	2-4	2-1	1-22	2
1-22	1-42	1-42		
1	3-41	3-41		



斜線の範囲は配線、器具共既設のまま

特記事項 (既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

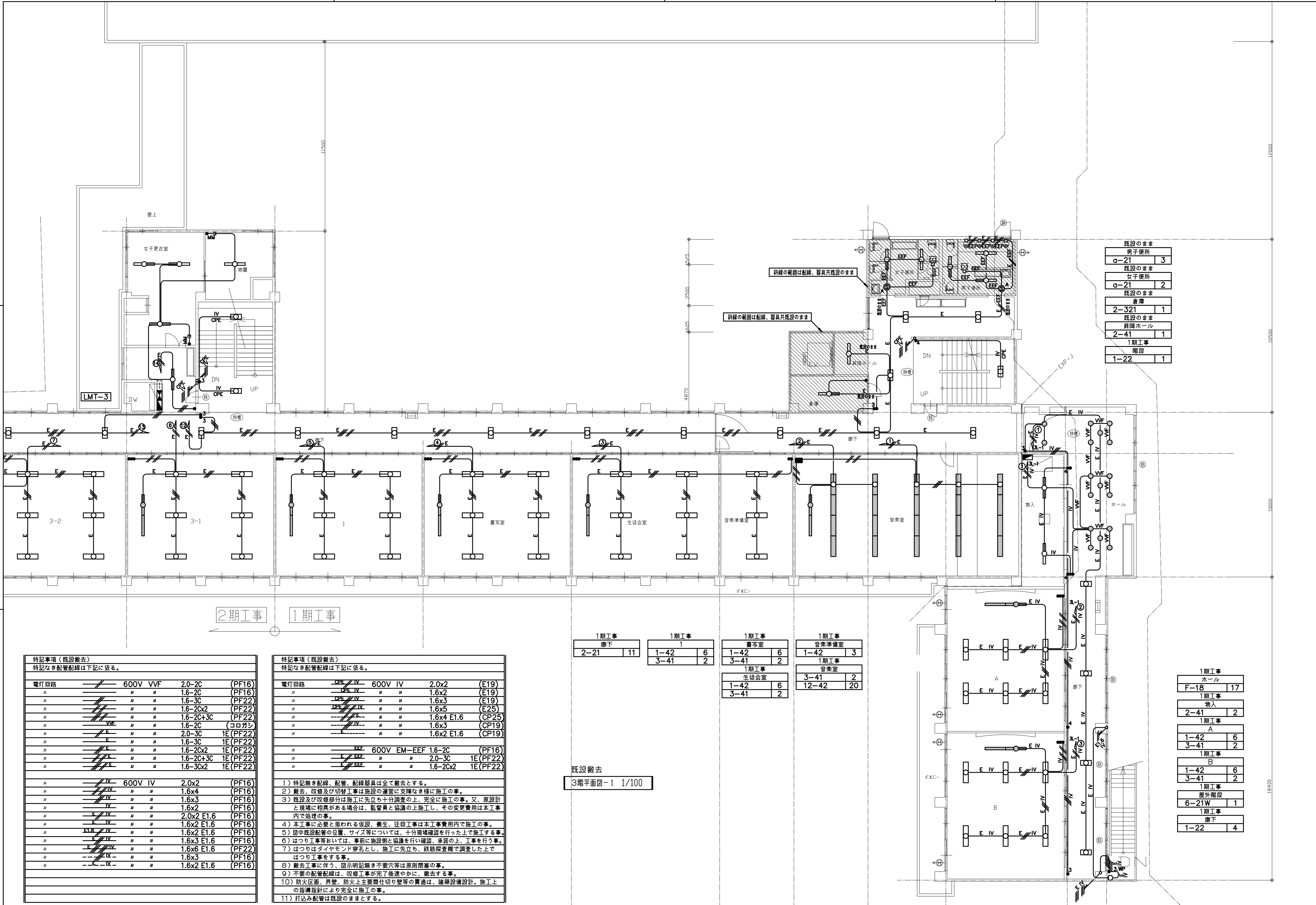
電灯回路	////	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
〃	////	〃	1.6-2C	(PF16)
〃	////	〃	1.6-3C	(PF22)
〃	////	〃	1.6-2Cx2	(PF22)
〃	////	〃	1.6-2C+3C	(PF22)
〃	////	VV	1.6-2C	(コロガシ)
〃	////	E	2.0-3C	1E(PF22)
〃	////	E	1.6-3C	1E(PF22)
〃	////	E	1.6-2Cx2	1E(PF22)
〃	////	E	1.6-2C+3C	1E(PF22)
〃	////	E	1.6-3Cx2	1E(PF22)
〃	////	IV	600V IV	2.0x2 (PF16)
〃	////	IV	〃	1.6x4 (PF16)
〃	////	IV	〃	1.6x3 (PF16)
〃	////	IV	〃	1.6x2 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	2.0x2 E1.6 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	1.6x2 E1.6 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	1.6x2 E1.6 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	1.6x3 E1.6 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	1.6x6 E1.6 (PF22)
〃	////	E/IV	〃	1.6x3 (PF16)
〃	////	E/IV	〃	1.6x2 E1.6 (PF16)

特記事項 (既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

電灯回路	////	600V IV	2.0x2	(E19)
〃	////	〃	1.6x2	(E19)
〃	////	〃	1.6x3	(E19)
〃	////	〃	1.6x5	(E25)
〃	////	〃	1.6x4 E1.6	(CP25)
〃	////	〃	1.6x3	(CP19)
〃	////	〃	1.6x2 E1.6	(CP19)
〃	////	EEF	600V EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
〃	////	E/EEF	〃	2.0-3C 1E(PF22)
〃	////	E/EEF	〃	1.6-2Cx2 1E(PF22)

- 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を要する事。
- 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 打込み配管は既設のままとする。

既設撤去
2階平面図-2 1/100



既設のまま	男子便所	3
既設のまま	女子便所	2
既設のまま	倉庫	1
既設のまま	昇降ホール	1
1期工事	階段	1

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
"	"	1.6-2C	(PF16)
"	"	1.6-3C	(PF22)
"	"	1.6-2Cx2	(PF22)
"	"	1.6-2C+3C	(PF22)
"	VVF	1.6-2C	(コロガシ)
"	"	2.0-3C	1E(PF22)
"	"	1.6-3C	1E(PF22)
"	"	1.6-2Cx2	1E(PF22)
"	"	1.6-2C+3C	1E(PF22)
"	"	1.6-3Cx2	1E(PF22)
"	600V IV	2.0x2	(PF16)
"	"	1.6x4	(PF16)
"	"	1.6x3	(PF16)
"	"	1.6x2	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x2 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x3 E1.6	(PF16)
"	"	1.6x6 E1.6	(PF22)
"	"	1.6x3	(PF16)
"	"	1.6x2 E1.6	(PF16)

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	CPE IV	600V IV	2.0x2 (E19)
"	"	"	1.6x2 (E19)
"	"	"	1.6x3 (E19)
"	"	"	1.6x5 (E25)
"	"	"	1.6x4 E1.6 (CP25)
"	"	"	1.6x3 (CP19)
"	"	"	1.6x2 E1.6 (CP19)
"	EEF	600V EM-EEF	1.6-2C (PF16)
"	"	"	2.0-3C 1E(PF22)
"	"	"	1.6-2Cx2 1E(PF22)

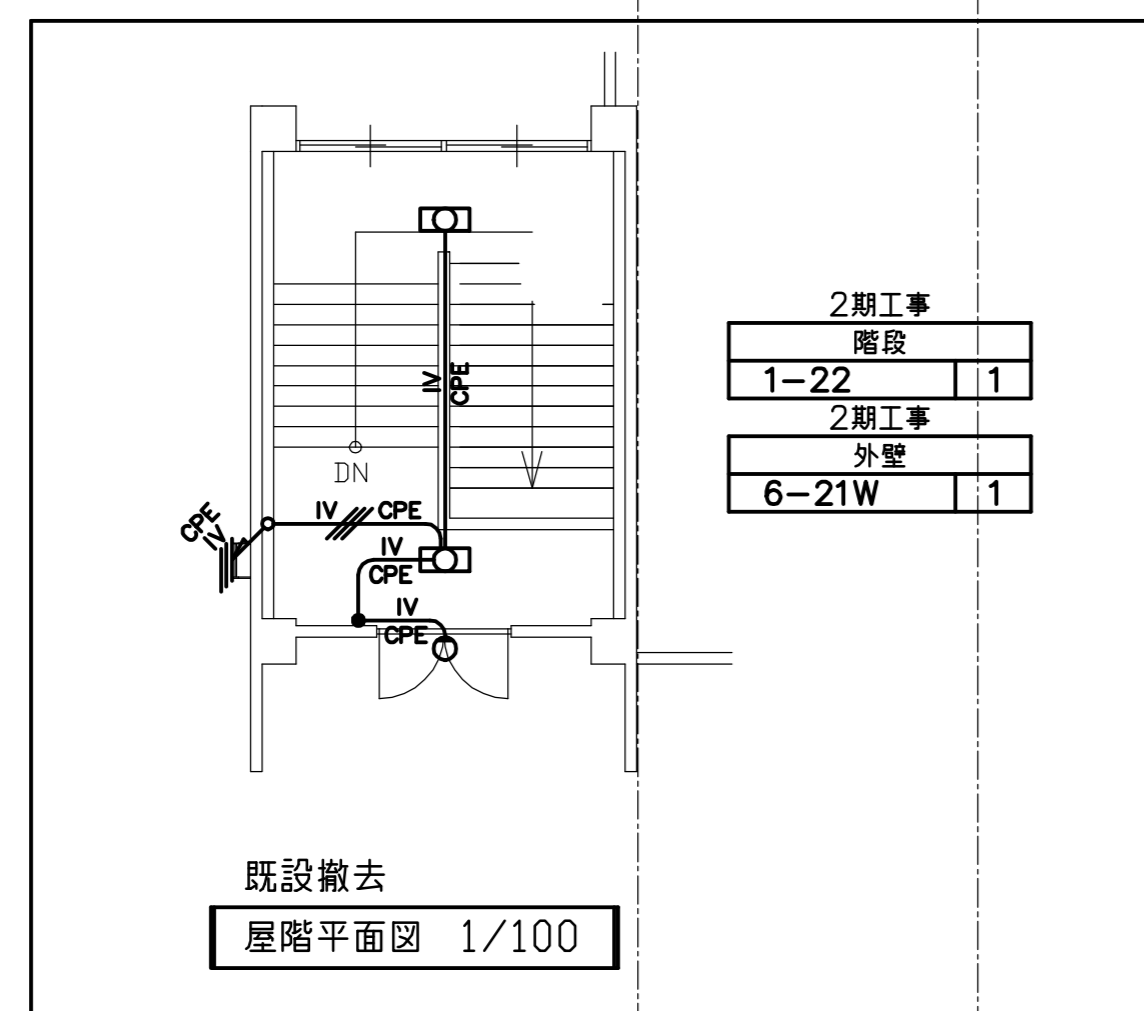
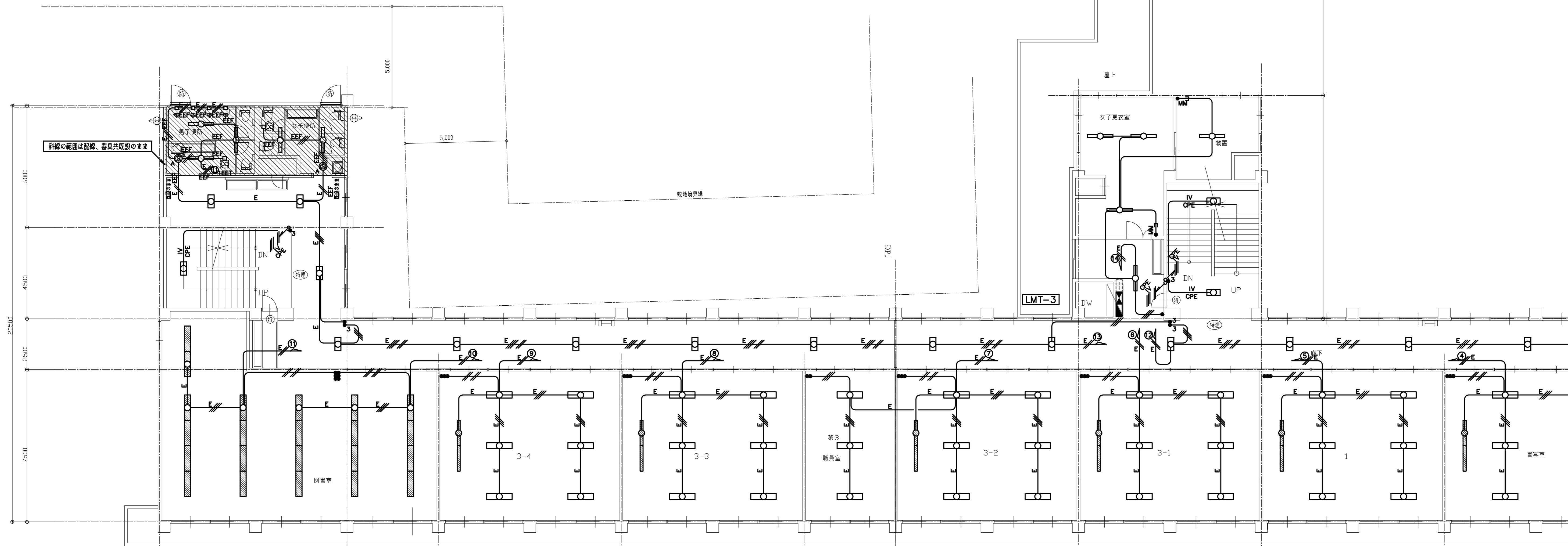
- 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
- 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
- はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 打込み配管は既設のままとする。

1期工事	廊下	2-21	11
1期工事		1-42	6
1期工事		3-41	2
1期工事	書写室	1-42	6
1期工事		3-41	2
1期工事	音楽準備室	1-42	3
1期工事	音楽室	3-41	2
1期工事	生徒会室	12-42	20

既設撤去
3階平面図-1 1/100

1期工事	ホール	F-18	17
1期工事	物入	2-41	2
1期工事	A	1-42	6
1期工事		3-41	2
1期工事	B	1-42	6
1期工事		3-41	2
1期工事	屋外階段	6-21W	1
1期工事	廊下	1-22	4

既設のまま	2期工事	2期工事	2期工事	2期工事
男子便所	廊下	3-4	3-2	女子更衣室、物置
a-21	2-41	1-42	1-42	2-41
	2-21	3-41	3-41	
既設のまま				2期工事
女子便所		2期工事	2期工事	階段
a-21		3-3	3-1	1-22
		1-42	1-42	
2期工事		3-41	3-41	
階段				
1-22				
		2期工事		
2期工事		第3職員室		
図書室		1-42		
12-42				

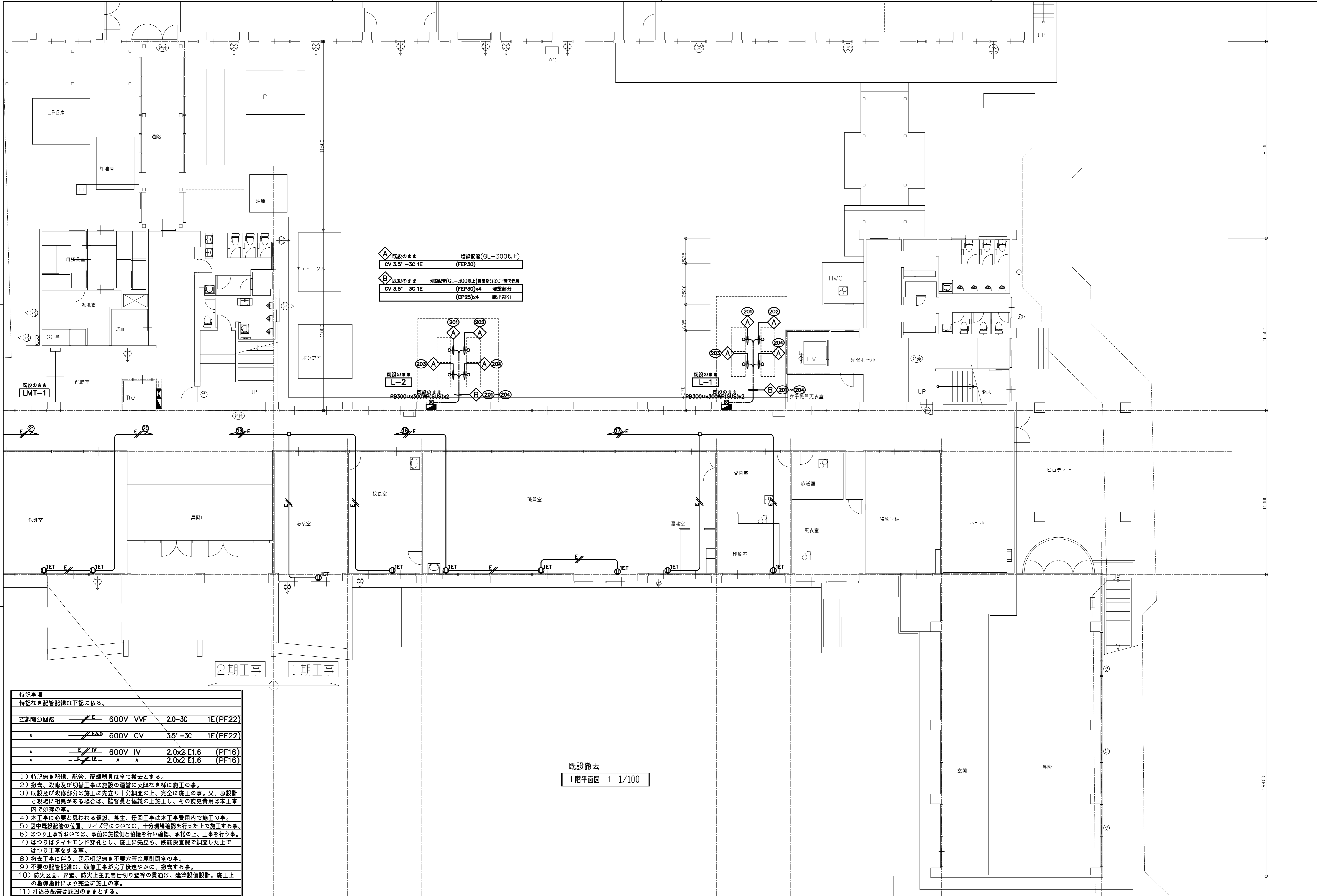


既設撤去
3階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)					
特記なき配管配線は下記に依る。					
電灯回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)		
〃	〃	1.6-2C	(PF16)		
〃	〃	1.6-3C	(PF22)		
〃	〃	1.6-2Cx2	(PF22)		
〃	〃	1.6-2C+3C	(PF22)		
〃	VV	1.6-2C	(コログシ)		
〃	〃	2.0-3C	1E(PF22)		
〃	〃	1.6-3C	1E(PF22)		
〃	〃	1.6-2Cx2	1E(PF22)		
〃	〃	1.6-2C+3C	1E(PF22)		
〃	〃	1.6-3Cx2	1E(PF22)		
〃	600V IV	2.0x2	(PF16)		
〃	〃	1.6x4	(PF16)		
〃	〃	1.6x3	(PF16)		
〃	〃	1.6x2	(PF16)		
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)		
〃	〃	1.6x2 E1.6	(PF16)		
〃	〃	1.6x2 E1.6	(PF16)		
〃	〃	1.6x3 E1.6	(PF16)		
〃	〃	1.6x6 E1.6	(PF22)		
〃	〃	1.6x3	(PF16)		
〃	〃	1.6x2 E1.6	(PF16)		

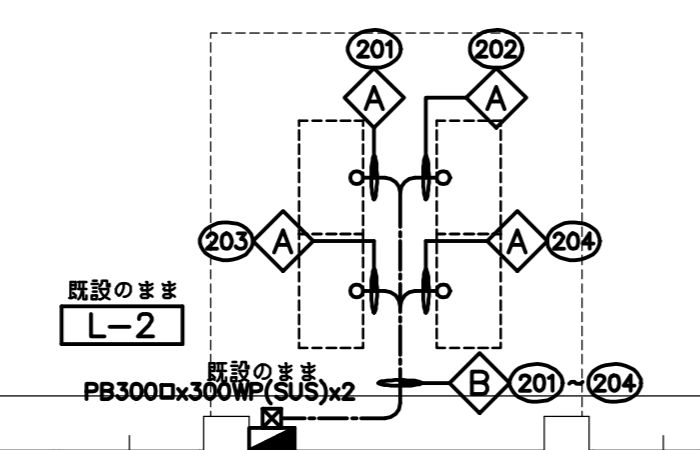
特記事項(既設撤去)					
特記なき配管配線は下記に依る。					
電灯回路	600V IV	2.0x2	(E19)		
〃	〃	1.6x2	(E19)		
〃	〃	1.6x3	(E19)		
〃	〃	1.6x5	(E25)		
〃	〃	1.6x4 E1.6	(CP25)		
〃	〃	1.6x3	(CP19)		
〃	〃	1.6x2 E1.6	(CP19)		
〃	600V EM-EEF	1.6-2C	(PF16)		
〃	〃	2.0-3C	1E(PF22)		
〃	〃	1.6-2Cx2	1E(PF22)		

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工する。
- 3) 既設及び改修部分の施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。



A 既設のまま 埋設配管 (GL-300以上)
 CV 3.5' - 3C 1E (FEP30)

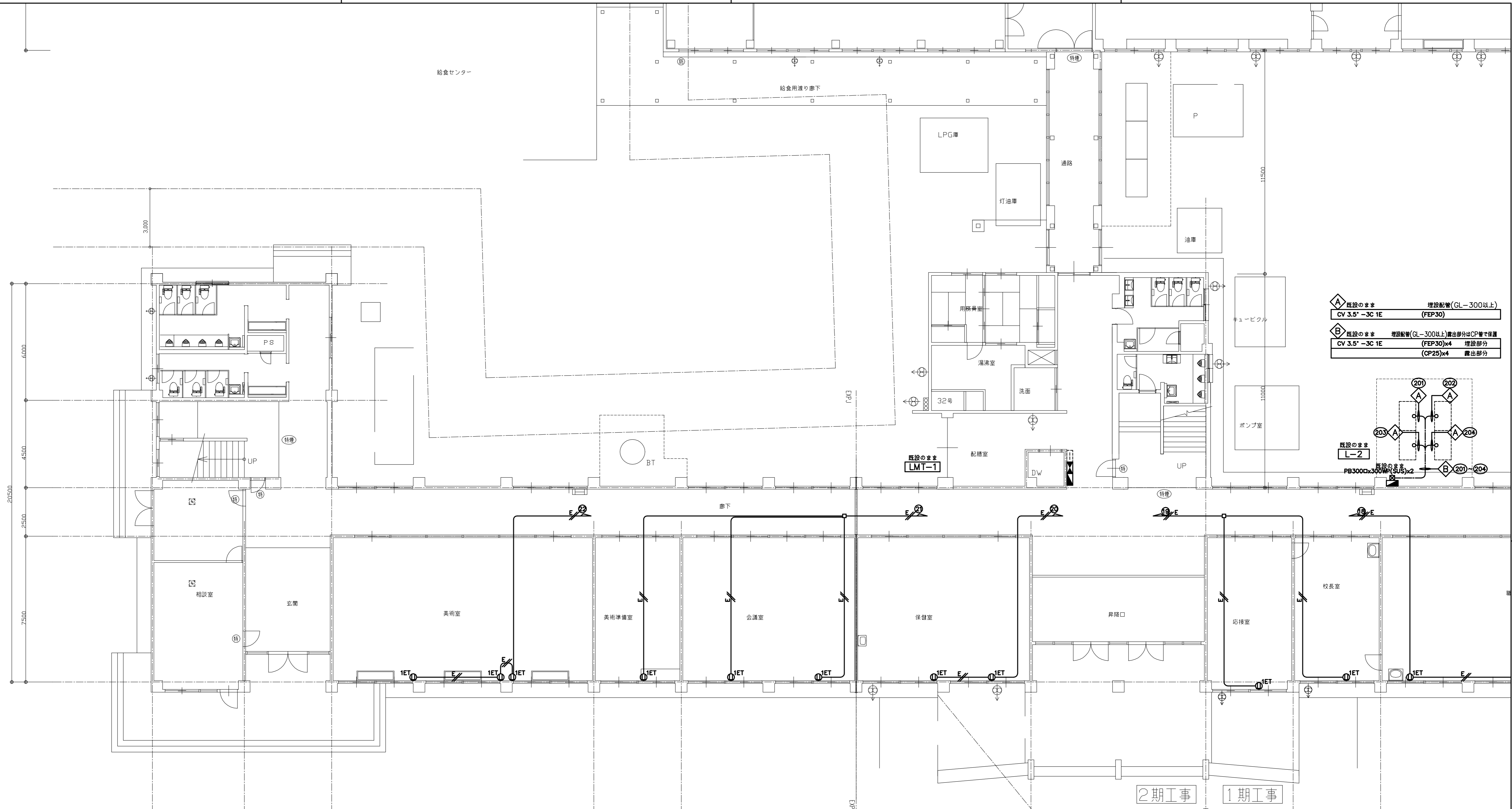
B 既設のまま 埋設配管 (GL-300以上) 露出部分はCP管で保護
 CV 3.5' - 3C 1E (FEP30) x 4 埋設部分
 CP25) x 4 露出部分



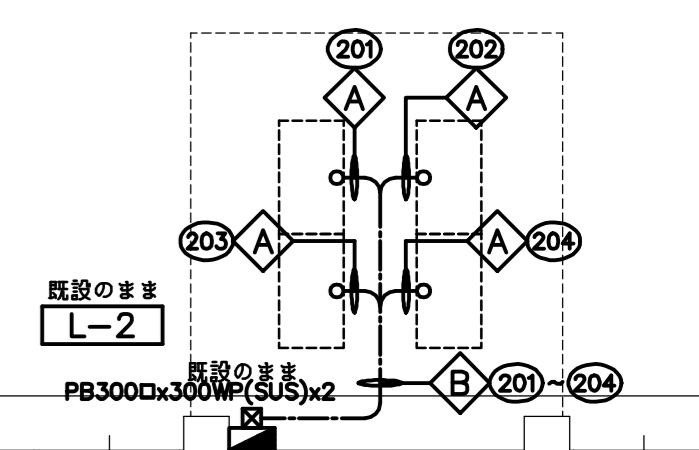
2期工事 1期工事

既設撤去
1階平面図-1 1/100

特記事項			
特記なき配管配線は下記に依る。			
空調電源回路	600V VVF	2.0-3C	1E(PF22)
〃	600V CV	3.5'-3C	1E(PF22)
〃	600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
〃	〃	〃	2.0x2 E1.6 (PF16)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 11) 打込み配管は既設のままとする。			

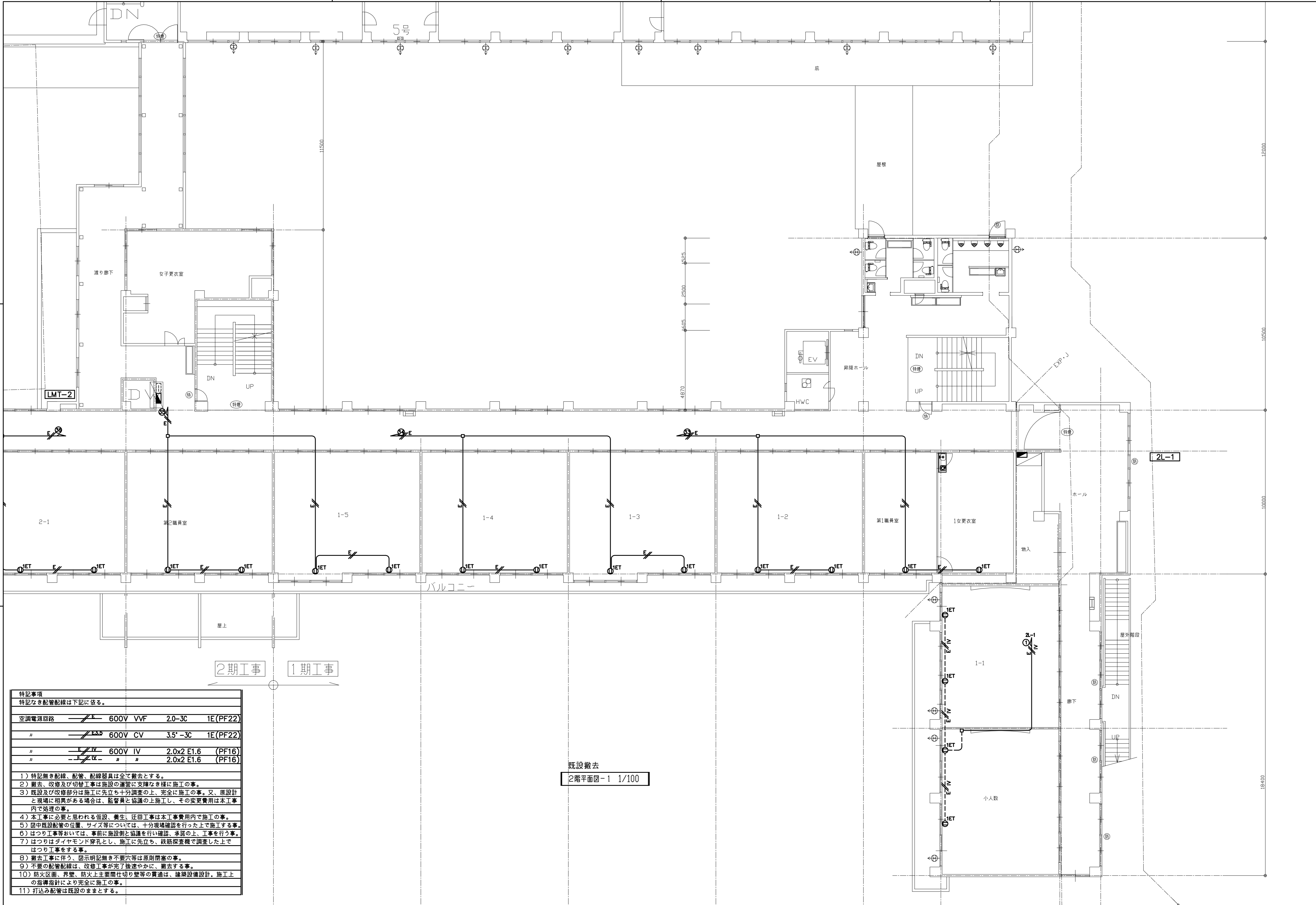


- A 既設のまま 埋設配管 (GL-300以上)
 CV 3.5" -3C 1E (FEP30)
- B 既設のまま 埋設配管 (GL-300以上) 露出部分はCP管で保護
 CV 3.5" -3C 1E (FEP30)x4 埋設部分
 CP25)x4 露出部分



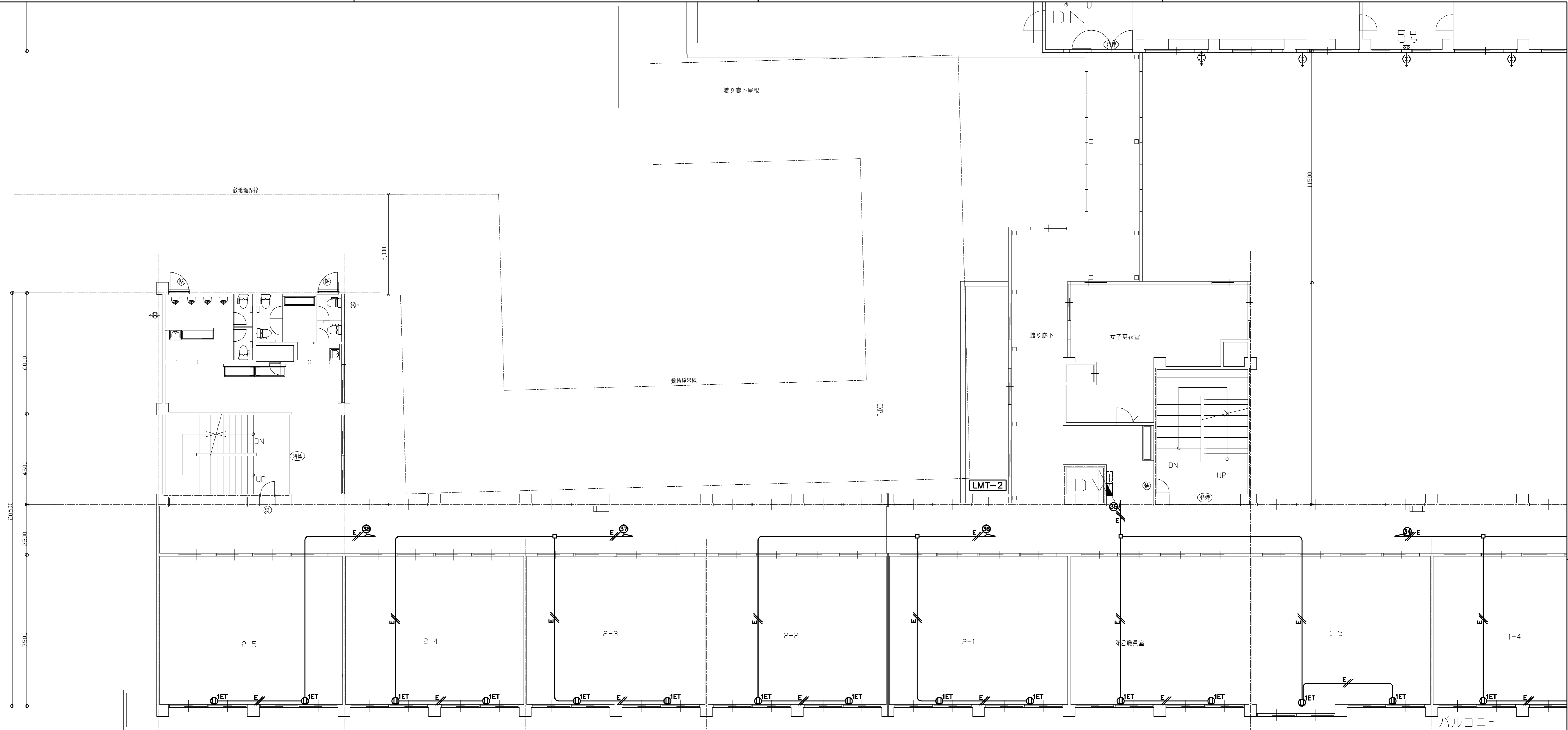
特記事項			
特記なき配管配線は下記に依る。			
空調電源回路		600V VVF 2.0-3C 1E (PF22)	
"		600V CV 3.5-3C 1E (PF22)	
"		600V IV 2.0x2 E1.6 (PF16)	
"		" " 2.0x2 E1.6 (PF16)	
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 10) 防火区画、界壁、防火上主要層仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 11) 打込み配管は既設のままとする。			

既設撤去
1階平面図-2 1/100



特記事項			
特記なき配管配線は下記に依る。			
空調電源回路		600V VVF	2.0-3C 1E(PF22)
"		600V CV	3.5'-3C 1E(PF22)
"		600V IV	2.0x2 E1.6 (PF16)
"		" "	2.0x2 E1.6 (PF16)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。			
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。			
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11) 打込み配管は既設のままとする。			

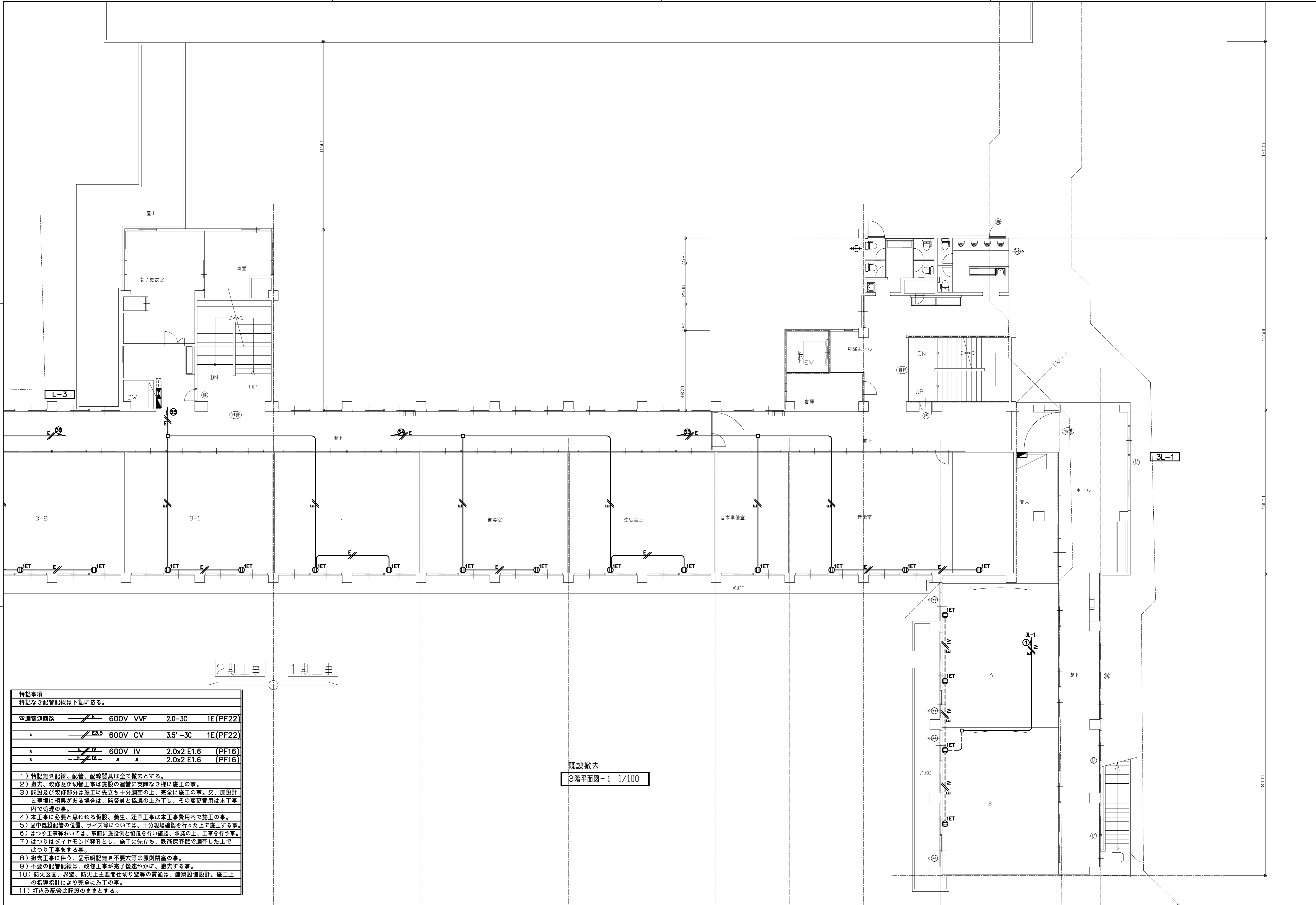
既設撤去
2階平面図-1 1/100



既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項	特記なき配管配線は下記に依る。			
空調電源回路		600V VVF	2.0-3C	1E(PF22)
〃		600V CV	3.5'-3C	1E(PF22)
〃		600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
〃		〃	2.0x2 E1.6	(PF16)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。				
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。				
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。				
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。				
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。				
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。				
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。				
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。				
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。				
10) 防火区画、界壁、防火上主要層仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。				
11) 打込み配管は既設のままとする。				

2期工事 1期工事

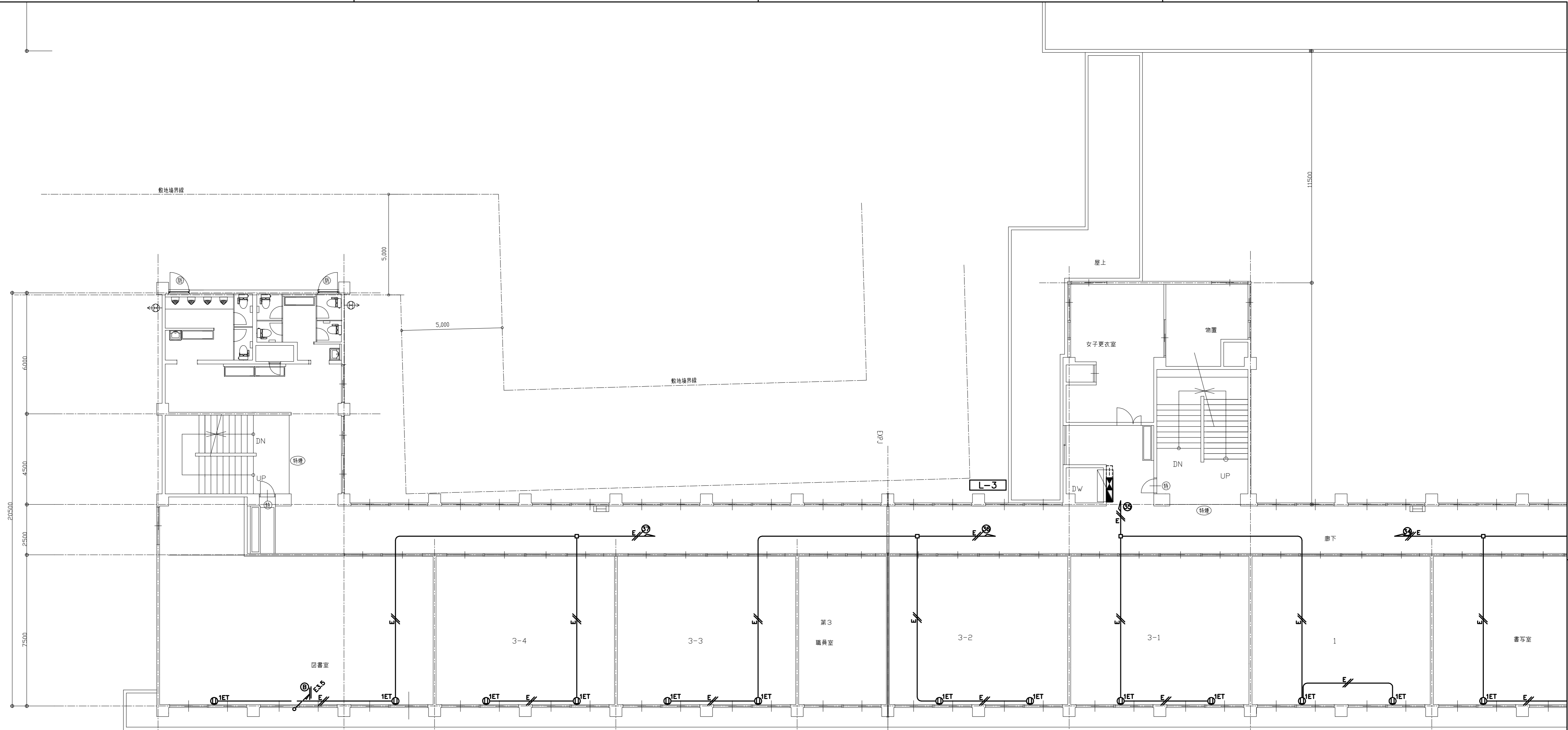


特記事項
特記なき配管配線は下記に依る。

空調電源回路	600V VVF	2.0-3C	1E(PF22)
〃	600V CV	3.5'-3C	1E(PF22)
〃	600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。

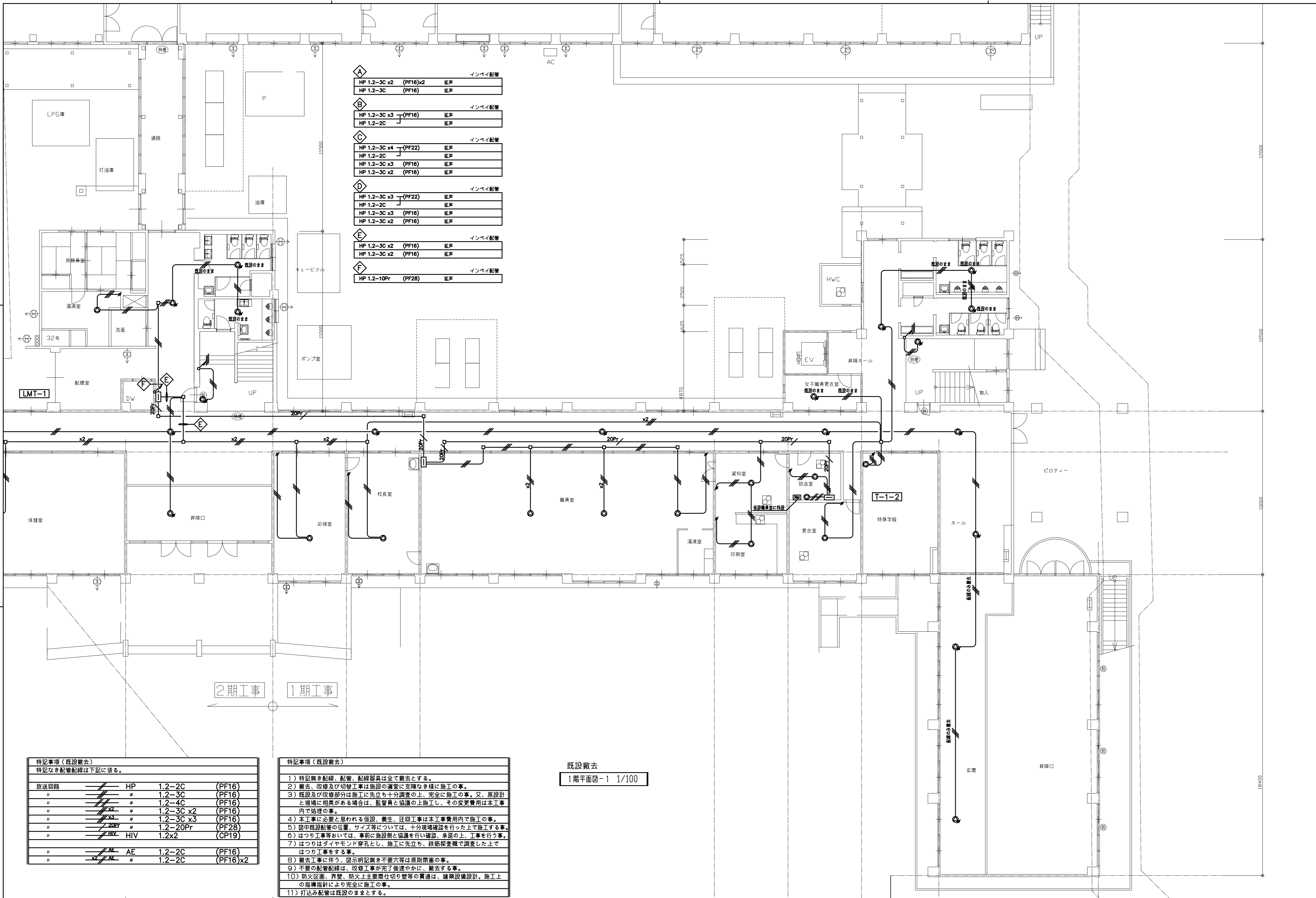
既設撤去
3階平面図-1 1/100



既設撤去
3階平面図-2 1/100

2期工事 1期工事

特記事項	特記なき配管配線は下記に依る。			
空調電源回路		600V VVF	2.0-3C	1E(PF22)
"		600V CV	3.5'-3C	1E(PF22)
"		600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
"		"	"	2.0x2 E1.6 (PF16)
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。			
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。			
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7)	はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8)	撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10)	防火区画、界壁、防火上主要層仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11)	打込み配管は既設のままとする。			



A	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)x2	拡声
HP 1.2-3C (PF16)	拡声
B	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
C	インベイ配管
HP 1.2-3C x4 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
D	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
E	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
F	インベイ配管
HP 1.2-10Pr (PF28)	拡声

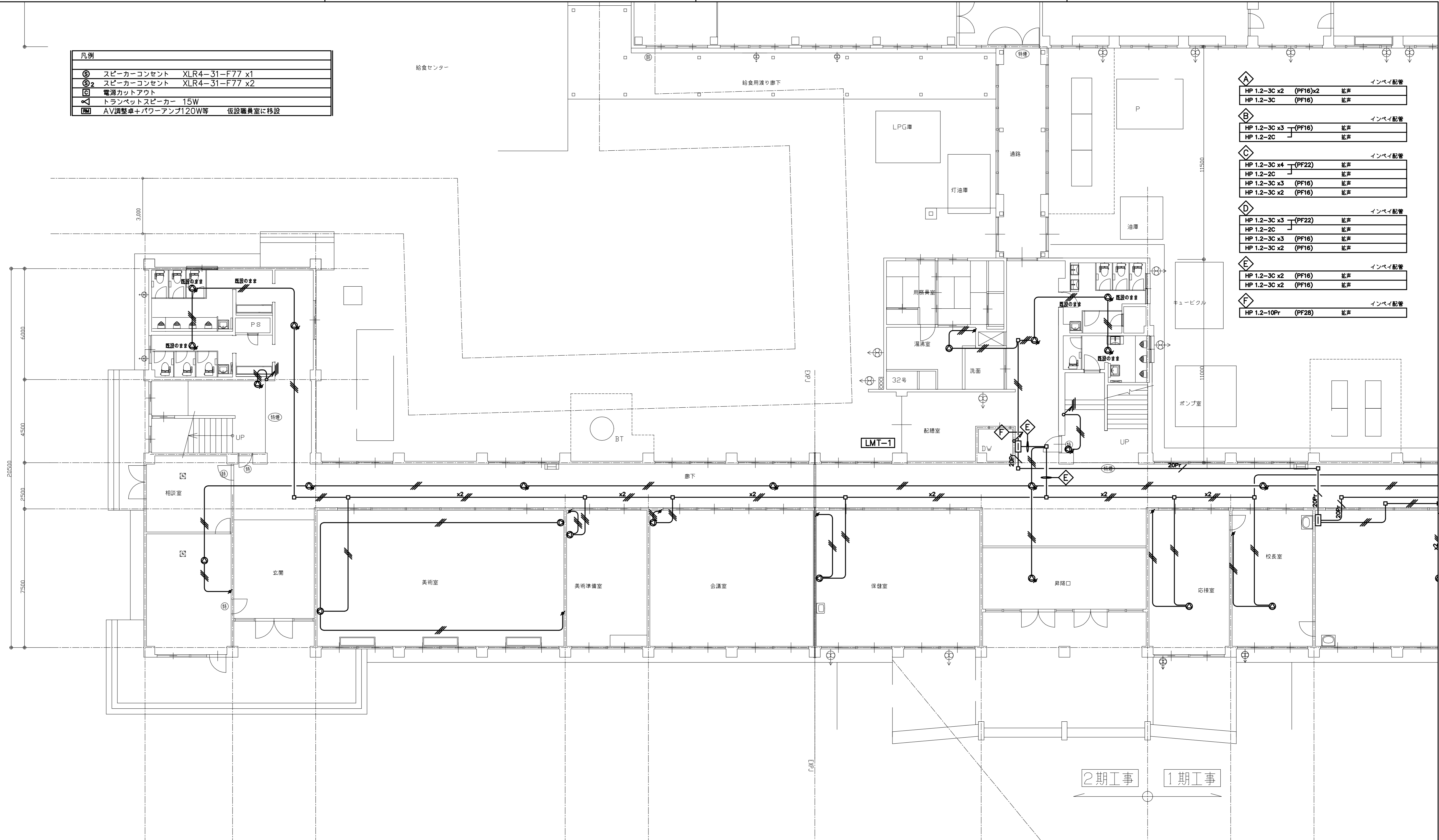
2期工事 ← 1期工事 →

既設撤去
1階平面図-1 1/100

特記事項（既設撤去）				
特記なき配管配線は下記に依る。				
放送回路	HP	1.2-2C	(PF16)	
"	"	1.2-3C	(PF16)	
"	"	1.2-4C	(PF16)	
"	XL	1.2-3C x2	(PF16)	
"	X2	1.2-3C x3	(PF16)	
"	20Pr	1.2-20Pr	(PF28)	
"	HIV	1.2x2	(CP19)	
"	AE	1.2-2C	(PF16)	
"	AE	1.2-2C	(PF16)x2	

特記事項（既設撤去）	
1）	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2）	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3）	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4）	本工事に必要と思われる仮設、養生、注留工事は本工事費用内で施工の事。
5）	箇中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6）	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7）	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8）	撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
9）	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10）	防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11）	打込み配管は既設のままとする。

凡例	
⑥	スピーカーコンセント XLR4-31-F77 x1
⑥2	スピーカーコンセント XLR4-31-F77 x2
ⓐ	電源カッタウト
ⓑ	トランペットスピーカー 15W
ⓓ	AV調整卓+パワーアンプ120W等 仮設職員室に移設



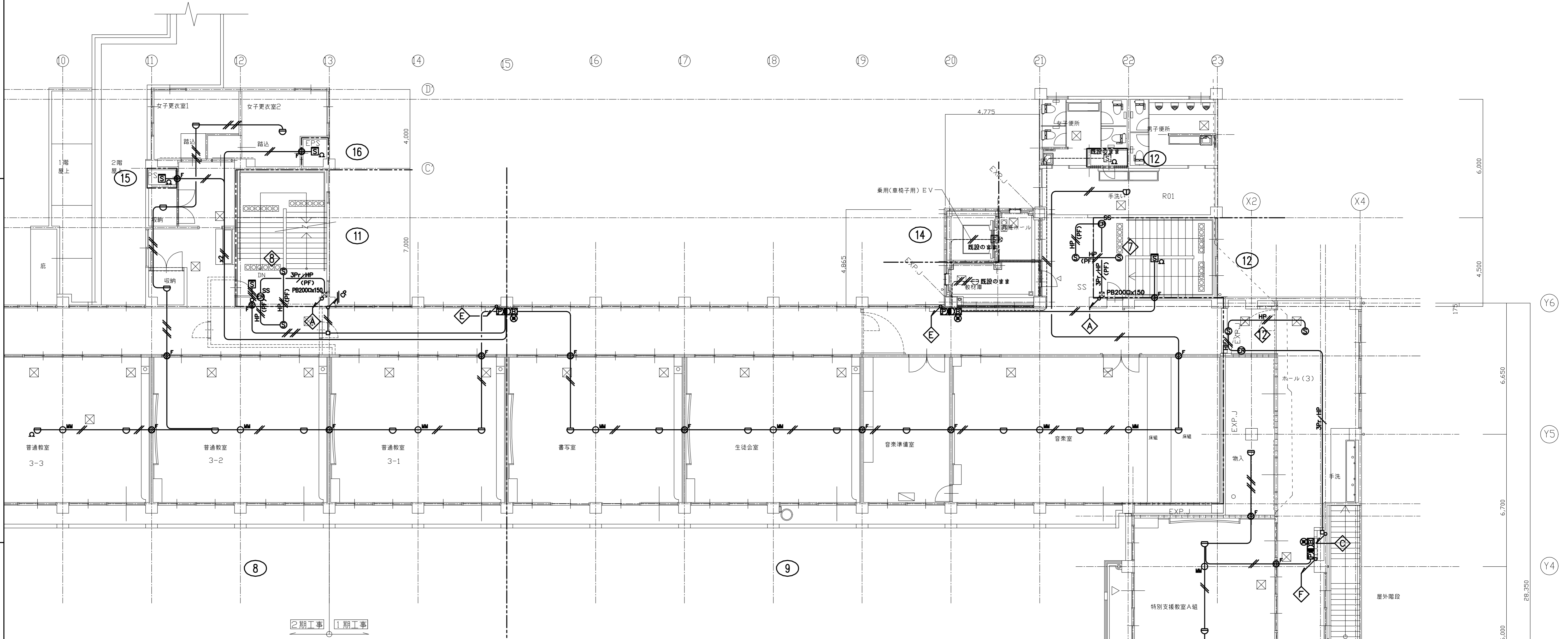
A		インベイ配管	
HP 1.2-3C x2	(PF16)x2	拡声	
HP 1.2-3C	(PF16)	拡声	
B		インベイ配管	
HP 1.2-3C x3	(PF16)	拡声	
HP 1.2-2C		拡声	
C		インベイ配管	
HP 1.2-3C x4	(PF22)	拡声	
HP 1.2-2C		拡声	
HP 1.2-3C x3	(PF16)	拡声	
HP 1.2-3C x2	(PF16)	拡声	
D		インベイ配管	
HP 1.2-3C x3	(PF22)	拡声	
HP 1.2-2C		拡声	
HP 1.2-3C x3	(PF16)	拡声	
HP 1.2-3C x2	(PF16)	拡声	
E		インベイ配管	
HP 1.2-3C x2	(PF16)	拡声	
HP 1.2-3C x2	(PF16)	拡声	
F		インベイ配管	
HP 1.2-10Pr	(PF28)	拡声	

既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
放送回路	HP	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C	(PF16)
〃	〃	1.2-4C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x2	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x3	(PF16)
〃	ZUEP	1.2-20Pr	(PF28)
〃	HIV	1.2x2	(CP19)
〃	AE	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-2C	(PF16)x2

- 特記事項(既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

A 既設配管に入線 EM-HP 1.2-3Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	E 既設配管に入線 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線 FP 2"-6C (E25) 消火栓P起動幹線	インベイ配管	H 既設のまま HP 1.2-2C (PF16) 火災信号 (EV)	インベイ配管
B 既設配管に入線 EM-HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	F 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線 FP 2"-6C (PF28) 消火栓P起動幹線	インベイ配管		
C 新設 EM-HP 1.2-3Pr (PF16) 防火戸幹線	インベイ配管	G 新設 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管 (二重天井内はコゴシ)		
D 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管				

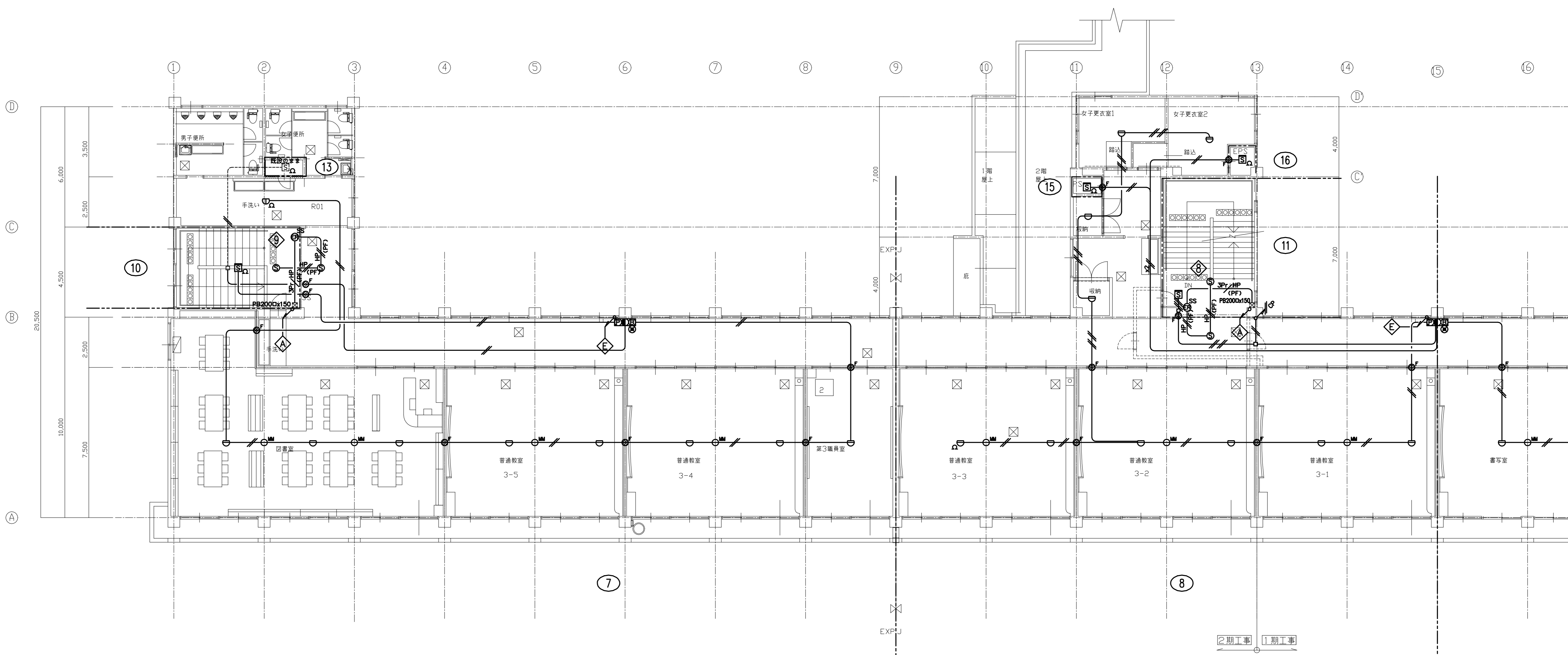


特記事項 (既設改修)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
感知器回路	EM-AE	1.2-2C (PF16)	
"	"	1.2-2C (PF16)x2	
"	"	1.2-4C (PF16)	
"	"	1.2-4C (E19)	
"	EM-AE	1.2-2C (CP19)既設配管に入線	
防火扉回路	HP	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)	
"	HP	" " 1.2-3Pr (PF16)	
"	HP	" " 1.2-5Pr (PF22)	
"	HP	" " 1.2-10Pr (PF22)	
"	HP	" " 1.2-2C (PF16)既設配管に入線	
"	HP	" " 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線	
"	HP	" " 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線	
消火栓P起動回路	FEP	600V FP 2"-6C (PF28)	
"	FEP	" " 2"-6C (E25) 既設配管に入線	
"	FEP	" " 2"-6C (FEP30)既設配管に入線	
ガス漏れ検知回路	EM-AE	1.2-4C (PF16)	

特記事項 (既設改修)	
1)	図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
11)	凡例
●	はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
○	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
■	梁露出部分をメタルモールドで保護を行うヶ所を示す。
12)	2重天井内及びOAFフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
13)	露出部の保護はメタルモールドで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールドで保護する事。
14)	PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のごと。
15)	1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。

既設改修
3階平面図-1 1/100

A 既設配管に入線 EM-HP 1.2-3Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	E 既設配管に入線 HP 1.2-10Pr (E31) 自火報幹線 FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路	インベイ配管	H 既設のまま HP 1.2-2C (PF16) 火災信号 (EV)	インベイ配管
B 既設配管に入線 EM-HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸幹線	インベイ配管	F 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報幹線 FP 2'-6C (PF26) 消火栓P起動回路	インベイ配管		
C 新設 EM-HP 1.2-3Pr (PF16) 防火戸幹線	インベイ配管	G 新設 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報幹線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)		
D 新設 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸幹線	インベイ配管				



既設改修
3階平面図-2 1/100

特記事項 (既設改修) 特記なき配管配線は下記に依る。	
感知器回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	" 1.2-2C (PF16)x2
"	" 1.2-4C (PF16)
"	" 1.2-4C (E19)
"	EM-AE 1.2-2C (CP19)既設配管に入線
防火扉回路	HP 600V EM-HP 1.2-2C (PF16)
"	" " 1.2-3Pr (PF16)
"	HP " " 1.2-5Pr (PF22)
"	HP " " 1.2-10Pr (PF22)
"	HP " " 1.2-2C (PF16)既設配管に入線
"	HP " " 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線
"	HP " " 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線
消火栓P起動回路	FP 600V FP 2'-6C (PF28)
"	" " 2'-6C (E25) 既設配管に入線
"	" " 2'-6C (FEP30)既設配管に入線
ガス漏れ検知回路	EM-AE 1.2-4C (PF16)

- 特記事項 (既設改修)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工区内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注工等は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇盤、防火上主要開口部等の費用は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊙ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊙ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びO.Aフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) P.Sは壁穴区画の為、P.S内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続は施設側の運営に支障なき様に施工の事。

①	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路
②	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸警線 FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路
③	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ警線 (特別教室棟) FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路 (特別教室棟)
④	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ警線 (特別教室棟)
⑤	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ警線 (特別教室棟)
⑥	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22)x2 防火戸警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸警線 (特別教室棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) ガス漏れ警線 (特別教室棟)
⑦	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線
⑧	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報警線 FP 2'-6C (PF28) 消火栓P起動回路
⑨	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線
⑩	既設配管に入線 インベ配管 EM-HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (体育館棟) FP 2'-6C (E25) 消火栓P起動回路 (体育館棟)
⑪	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (体育館棟)
⑫	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (体育館棟) EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸警線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (体育館棟)
⑬	新設 インベ配管(二重天井内はコログシ) EM-HP 1.2-10Pr (PF22)x2 自火報警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 防火戸警線 EM-HP 1.2-5Pr (PF22) 防火戸警線 EM-HP 1.2-10Pr (PF22) 自火報警線 (体育館棟)

凡例

記号	名称	備考	
[Symbol]	複合型受信機	自火報 P型 1級 30回線 防火扉 10回線 ガス漏れ警報 10回線 一般警報 15回線	
	副受信機	60回線	
	[R]	遠動操作盤	防火扉 5回線
	[Symbol]	総合盤	端子台取付
[Symbol]	発信機	P型 1級	
[Symbol]	表示灯	AC 24V	
[Symbol]	電鈴	DC 24V φ150mm	
[Symbol]	消火栓起動ボタン (難読操作性:機械工事)	AC 24V	
[Symbol]	感知器	差動式スポット型 2種	
[Symbol]	感知器	定温式スポット型 特種	
[Symbol]	感知器	定温式スポット型 特種	
[Symbol]	煙感知器	光電式煙感知器 2種	
[Symbol]	煙感知器	光電式煙感知器 2種	
[Symbol]	終端抵抗器		
- - - -	警戒区域線		
[NO]	警戒区域番号	NO 1-30	
[Symbol]	煙感知器	光電式煙感知器 3種 確認ランプ付	
[Symbol]	防火扉閉鎖器	本工事	
[Symbol]	防火シャッター閉鎖器	建築工事	
[Symbol]	警戒区域番号	NO 1-10	
[Symbol]	集中式ガス漏れ検知器	都市ガス用	
[Symbol]	中継器	1~3個用	
[Symbol]	中継器	4~5個用	
[Symbol]	警戒区域番号	NO 1-6	
[Symbol]	ポールボックス	アウトレットボックス	
[Symbol]	露出丸ボックス		
[Symbol]	立上り, 立下り		
[Symbol]	天井インベ配線工事		
[Symbol]	床インベ配線工事		
[Symbol]	露出配管工事		
[Symbol]	地中埋設配線工事		

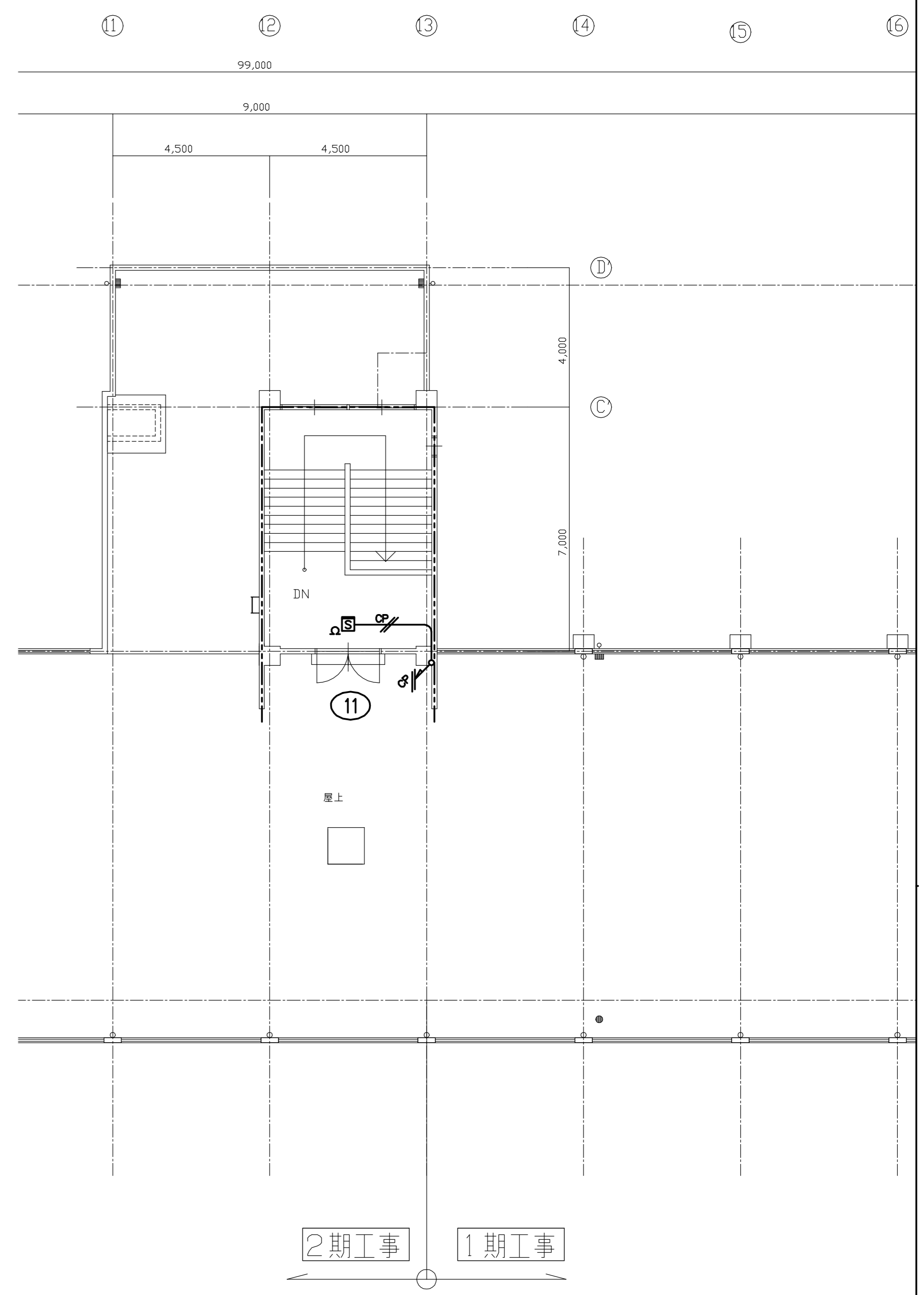
特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

感知器回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
〃	〃 〃 1.2-2C (PF16)x2
〃	〃 〃 1.2-4C (PF16)
〃	〃 〃 1.2-4C (E19)
〃	EM-AE 1.2-2C (CP19)既設配管に入線
防火扉回路	600V EM-HP 1.2-2C (PF16)
〃	〃 〃 1.2-3Pr (PF16)
〃	〃 〃 1.2-5Pr (PF22)
〃	〃 〃 1.2-10Pr (PF22)
〃	〃 〃 1.2-2C (PF16)既設配管に入線
〃	〃 〃 1.2-3Pr (PF22)既設配管に入線
〃	〃 〃 1.2-10Pr (PF22)既設配管に入線
消火栓P起動回路	600V FP 2'-6C (PF28)
〃	〃 〃 2'-6C (E25) 既設配管に入線
〃	〃 〃 2'-6C (FEP30)既設配管に入線
ガス漏れ検知回路	EM-AE 1.2-4C (PF16)

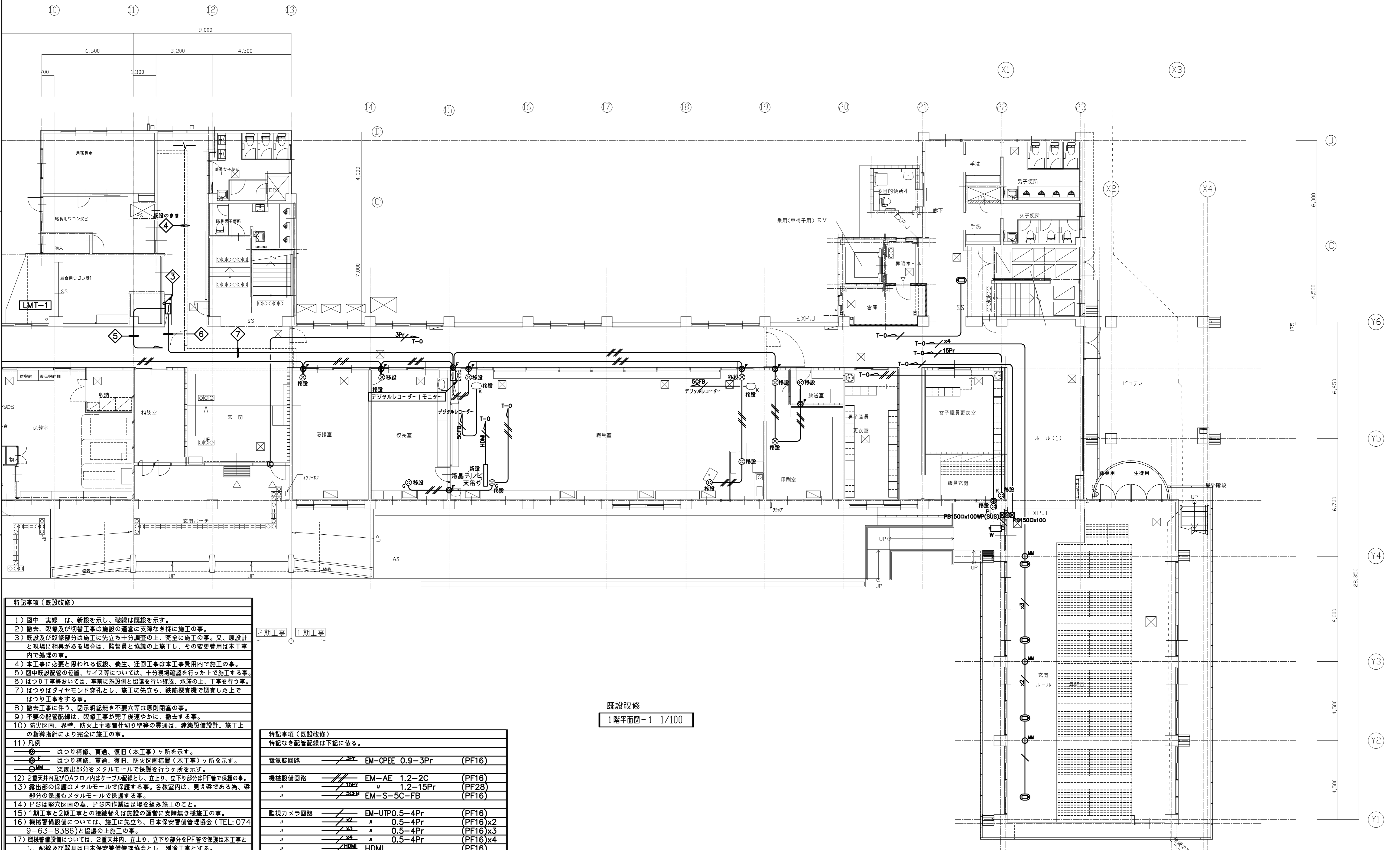
特記事項 (既設改修)

- 1) 固中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 固中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を要する事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき必要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇盤、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導致針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - ◯ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - ⑫ 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - ⑬ 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - ⑭ P/Sは壁穴区画の為、P/S内作業は足場を組み施工のこと。
 - ⑮ 1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障なき様施工の事。



既設改修
屋階平面図 1/100

① 新設 インベイ配管 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ	④ 既設のまま ケーブル配線 AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	⑦ 既設のまま インベイ配管 AE 1.2-4C x2 (コロガシ) AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)
② 既設のまま ケーブル配線 AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	⑤ 新設 インベイ配管 (二重天井内はコロガシ) EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	⑧ 既設のまま インベイ配管 AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)
③ 既設のまま インベイ配管 AE 1.2-4C (PF16) EM-AE 1.2-4C (PF16) EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3	⑥ 既設のまま インベイ配管 AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)	⑨ 既設のまま インベイ配管 AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)



- 特記事項 (既設改修)**
- 1) 図中 実線は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事) ケ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事) ケ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うケ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386) と協議の上施工の事。
 - 17) 機械警備設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。

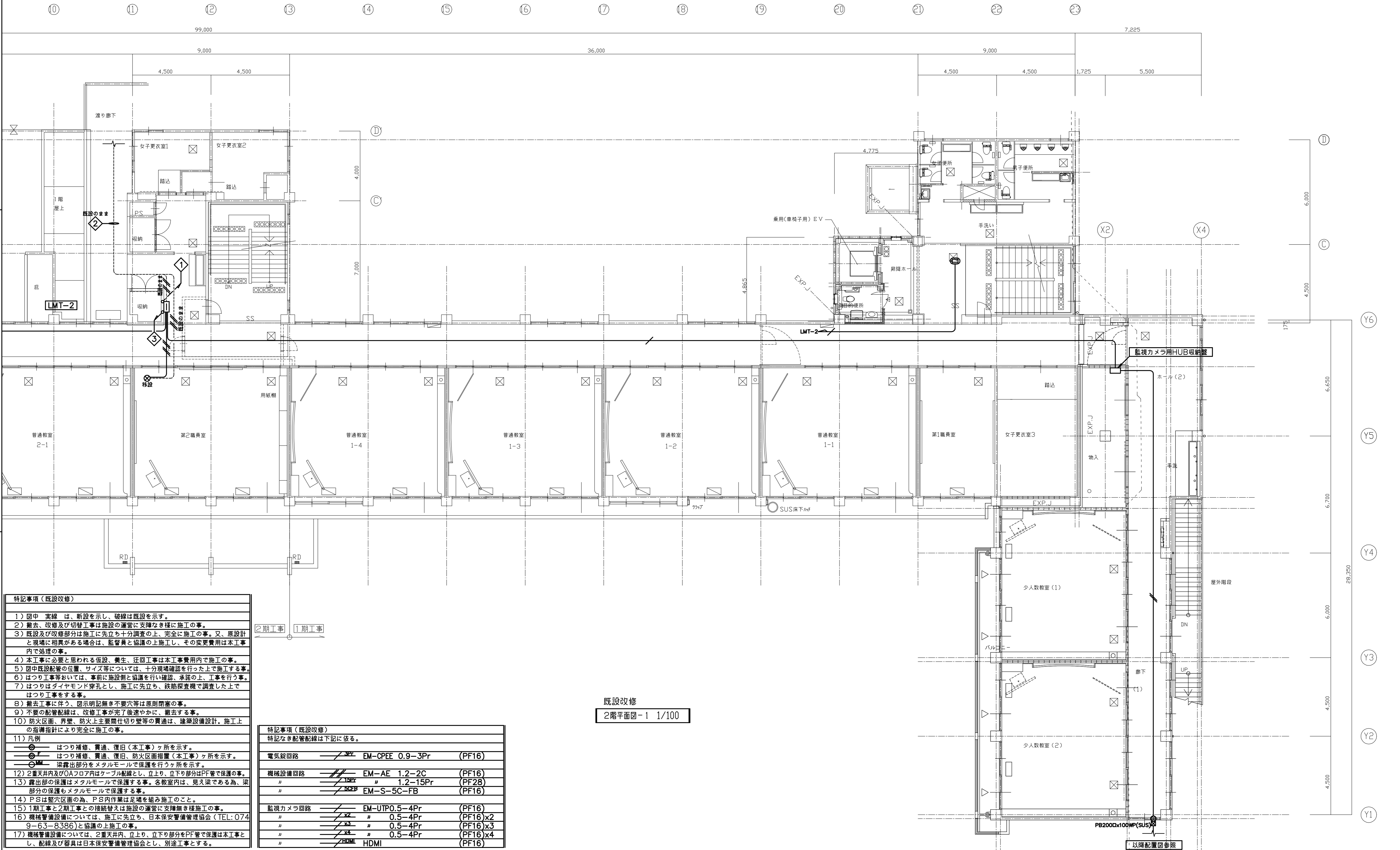
特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

電気回路	EM-CPEE 0.9-3Pr (PF16)
機械設備回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-S-5C-FB (PF16)
監視カメラ回路	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x2
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x3
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x4
"	HDMI (PF16)

既設改修
1階平面図-1 1/100

① 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ	④ 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4)	⑦ 新設 AE 1.2-4C x2 (コロガシ) AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ
② 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	⑤ 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	⑧ 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ
③ 新設 AE 1.2-4C (PF16) EM-AE 1.2-4C (PF16) EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	⑥ 既設のまま AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ	⑨ 新設 AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ



- 特記事項 (既設改修)**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386)と協議の上施工の事。
 - 17) 機械警備設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。

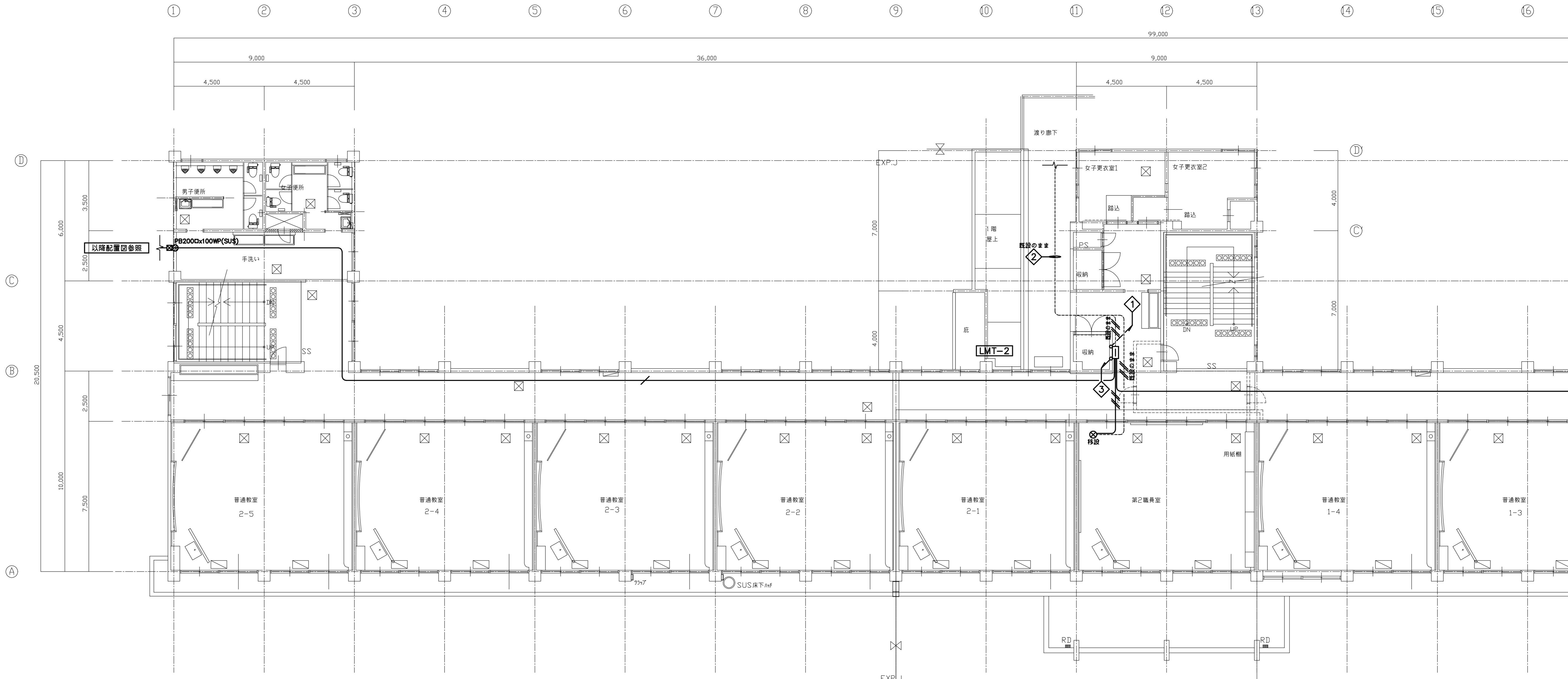
特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

電気回路	EM-CPEE 0.9-3Pr (PF16)
機械設備回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-AE 1.2-15Pr (PF28)
"	EM-S-5C-FB (PF16)
監視カメラ回路	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x2
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x3
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x4
"	HDMI (PF16)

既設改修
2階平面図-1 1/100

① 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ	インベイ配管	④ 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4)	ケーブル配管	⑦ 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4)	インベイ配管	既設のまま
② 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	ケーブル配管	⑤ 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	インベイ配管 (二重天井内はコロガシ)	⑧ 既設のまま AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch3)	ケーブル配管	既設のまま
③ 既設のまま AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch3)	既設のまま	⑥ 新設 EM-AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch2)	インベイ配管	⑨ 既設のまま EM-AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch2)	既設のまま	新設



既設改修
2階平面図-2 1/100

特記事項 (既設改修)

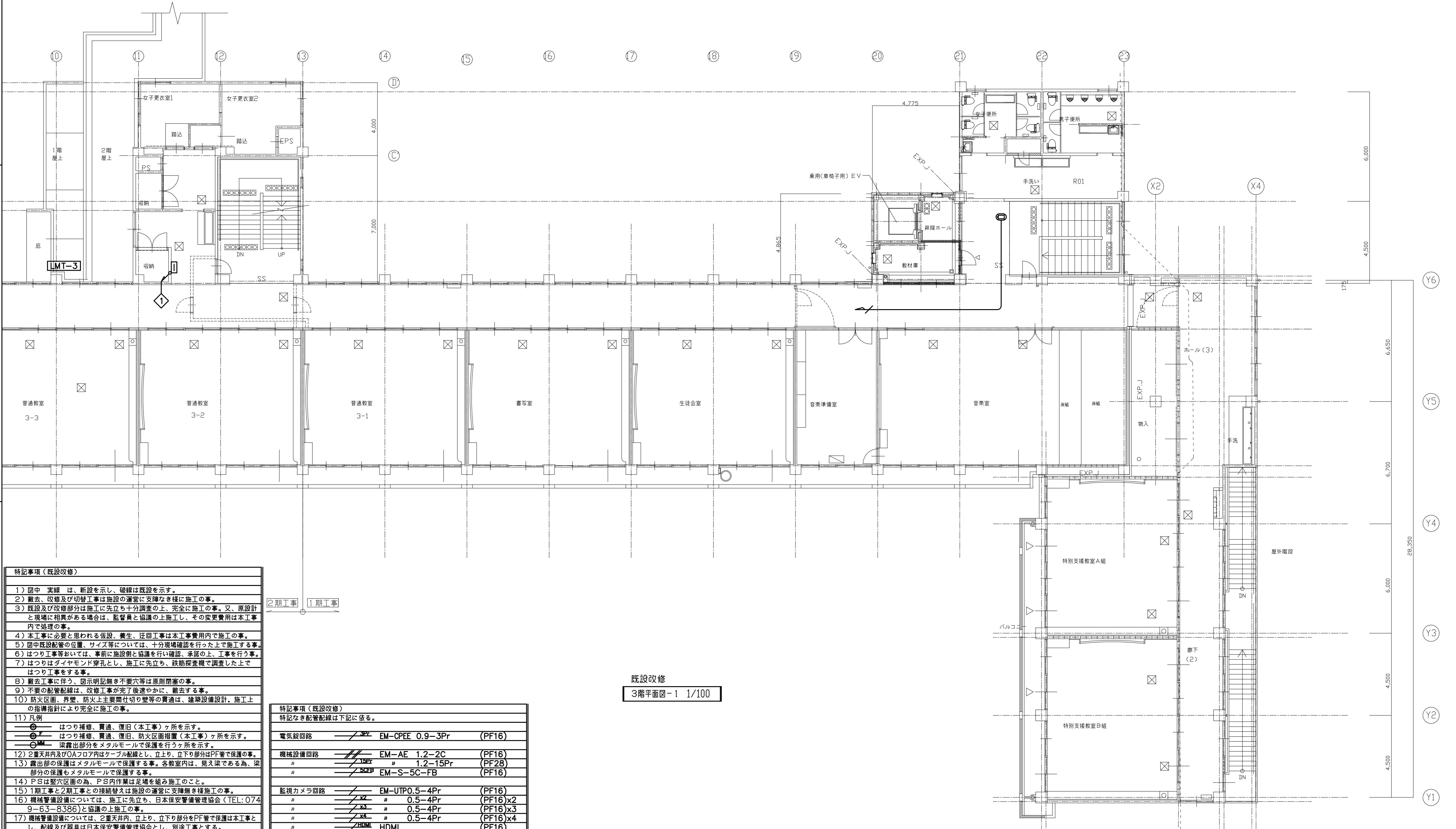
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置 (本工事)ヶ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え染である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
- 14) PSは壁穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386)と協議の上施工の事。
- 17) 機械警備設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。

特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

電気線回路	EM-CPEE 0.9-3Pr	(PF16)
機械設備回路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
"	1.2-15Pr	(PF28)
"	EM-S-5C-FB	(PF16)
監視カメラ回路	EM-UTP 0.5-4Pr	(PF16)
"	0.5-4Pr	(PF16)x2
"	0.5-4Pr	(PF16)x3
"	0.5-4Pr	(PF16)x4
"	HDMI	(PF16)

① 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ	④ 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4)	⑦ 新設 AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4) AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch3) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ
② 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	⑤ 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	既設のまま 既設のまま 新設
③ 新設 AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch3) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	⑥ 既設のまま AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch3) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ	既設のまま 既設のまま 新設



- 特記事項 (既設改修)**
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊕ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
 - 12) 2重天井及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室内は、見え梁である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
 - 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
 - 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
 - 16) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会(TEL: 074-9-63-8386)と協議の上施工の事。
 - 17) 機械警備設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。

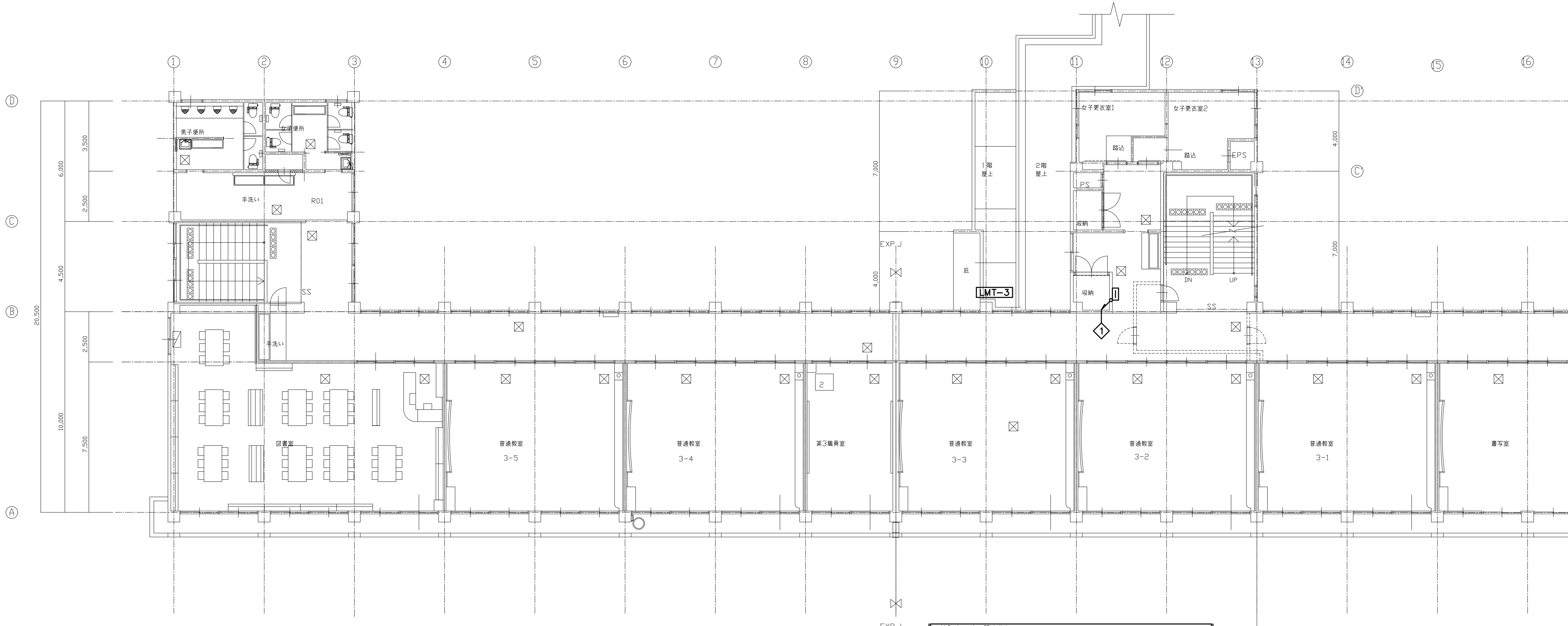
特記事項 (既設改修)

特記なき配管配線は下記に依る。

電気回路	EM-CPEE 0.9-3Pr (PF16)
機械設備回路	EM-AE 1.2-2C (PF16)
"	EM-AE 1.2-15Pr (PF28)
"	EM-S-5C-FB (PF16)
監視カメラ回路	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x2
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x3
"	EM-UTP0.5-4Pr (PF16)x4
"	HDMI (PF16)

既設改修
3階平面図-1 1/100

1 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ	インペイ配管	4 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4)	ケーブル配管	7 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ	インペイ配管
2 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3)	ケーブル配管	5 新設 EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3 監視カメラ	インペイ配管 (二重天井内はコロガシ)	6 既設のまま AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16) 監視カメラ	ケーブル配管
3 既設のまま AE 1.2-4C (PF16) EM-AE 1.2-4C (PF16) EM-UTP 0.5-4Pr (PF16)x3	インペイ配管	6 既設のまま AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)	ケーブル配管	7 既設のまま AE 1.2-4C x2 (コロガシ) AE 1.2-4C (コロガシ) EM-AE 1.2-4C (PF16)	インペイ配管



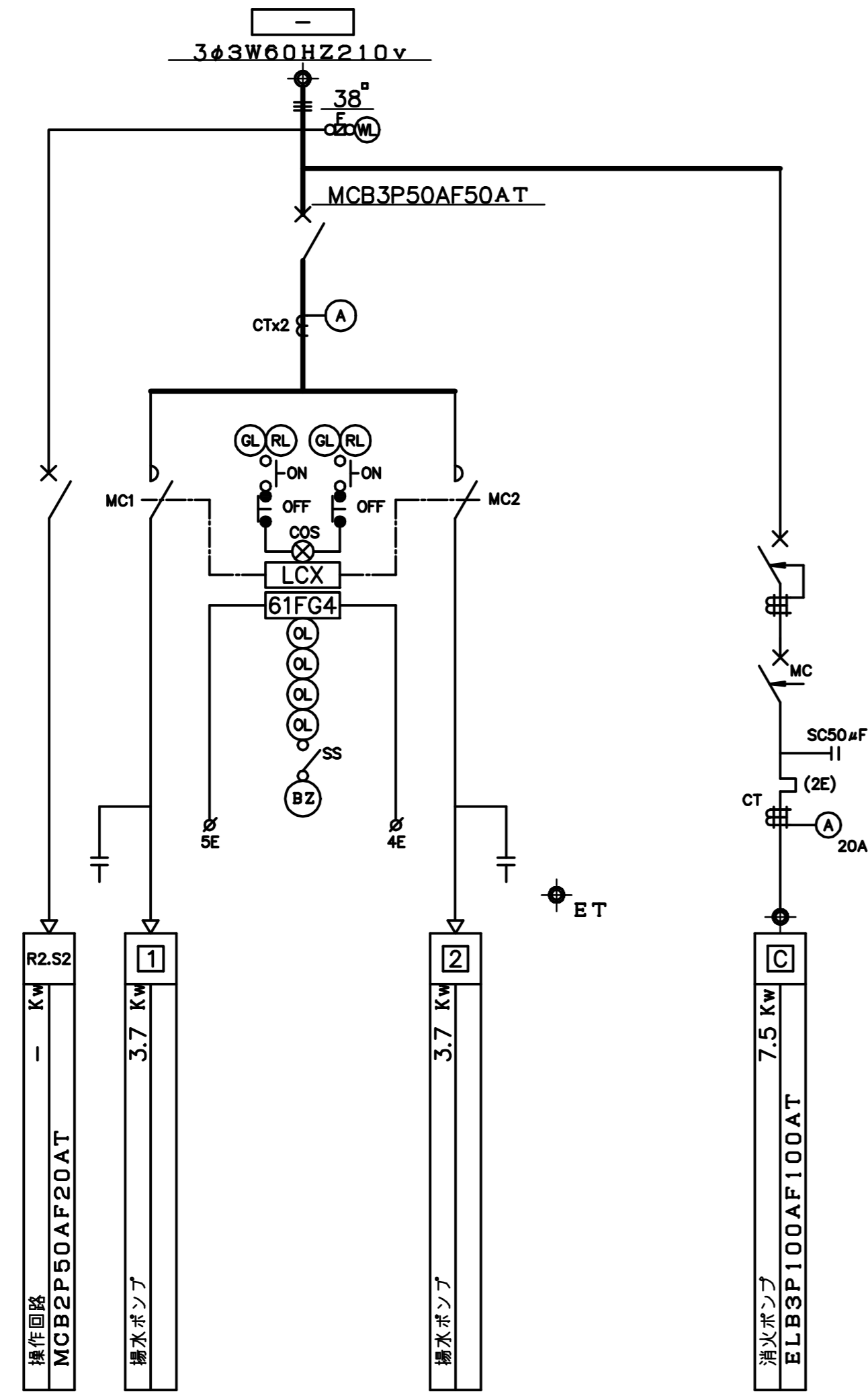
既設改修
3階平面図-2 1/100

特記事項(既設改修)

- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工区内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 凡例
 - はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊙ はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)ヶ所を示す。
 - ⊖ 梁露出部分をメタルモールで保護を行うヶ所を示す。
- 12) 2重天井内及びOAフロア内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 13) 露出部の保護はメタルモールで保護する事。各教室室内は、見え染である為、梁部分の保護もメタルモールで保護する事。
- 14) PSは整穴区画の為、PS内作業は足場を組み施工のこと。
- 15) 1期工事と2期工事との接続替は施設の運営に支障なき様施工の事。
- 16) 機械設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会(TEL:074-9-63-8386)と協議の上施工の事。
- 17) 機械設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。

特記事項(既設改修)
特記なき配管配線は下記に依る。

電気回路	EM-CPEE 0.9-3Pr	(PF16)
機械設備回路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
〃	〃 1.2-15Pr	(PF28)
〃	EM-S-5C-FB	(PF16)
監視カメラ回路	EM-UTP0.5-4Pr	(PF16)
〃	〃 0.5-4Pr	(PF16)x2
〃	〃 0.5-4Pr	(PF16)x3
〃	〃 0.5-4Pr	(PF16)x4
〃	HDMI	(PF16)



ポンプ室制御盤

TOTAL = 11.2 KW

既設撤去
ポンプ室制御盤
屋内露出型 鋼板製扉鍵付
 寸法：約600Wx1500Hx200D

凡例

記号	名称	備考
Ⓜ	電灯回路番号	1φ2W200/100V
Ⓜ	動力回路番号	3φ3W200V
●	埋込スイッチ 1P15A x 1	新金属プレート
●3	” 3W15A x 1	”
●4	” 4W15A x 1	”
●L	” 1P15A x 1+LEDx1	”
Ⓜ1	埋込コンセント 2P15A x 1	”
Ⓜ1E	” 2P15A x 1 接地極付	”
Ⓜ1ET	” 2P15A x 1 接地端子付	”
Ⓜ1EET	” 2P15A x 1 接地端子、接地極付	”
Ⓜ2	” 2P15A x 2	”
Ⓜ2	” 2P15A x 3	”
Ⓜ2E	” 2P15A x 2 接地極付	”
Ⓜ2ET	” 2P15A x 2 接地端子付	”
Ⓜ2EET	” 2P15A x 2 接地端子、接地極付	”
Ⓜ2EET.WP	” 2P15A x 2 接地端子、接地極付 防水型	”
Ⓜ2.WP	” 2P15A x 2 防水型	”
Ⓜ	引掛埋込ローゼット 2P15A x 1	丸型耳付、埋込型
Ⓜ2	埋込コンセント 2P15A x 2	アップコンセント
Ⓜ	テレビ受口 中間	新金属プレート BS対応、デジタル放送対応
ⓂR	テレビ受口 端末	” BS対応、デジタル放送対応
Ⓜ	電話用受口 6極4芯	”
ⓂLAN	LAN受口(情報通信) 8極8芯	”
Ⓜ	床用電話用受口 6極4芯	”
Ⓜ	端子盤	
Ⓜ	引込開閉器盤	
Ⓜ	電灯分電盤	
Ⓜ	動力分電盤	
Ⓜ	警報盤	
Ⓜ	放送アンプ	
Ⓜ	天井埋込型スピーカ 3W	
Ⓜ	壁掛型スピーカ 3W	
Ⓜ	電源カットアウト	
Ⓜ	電動機、モーター	建築工事
Ⓜ	電柱	
Ⓜ	既設電柱	
Ⓜ	トイレ呼出表示器	
Ⓜ	トイレ呼出押釦	
Ⓜ	表示灯	
Ⓜ	復旧ボタン	
ⓂPB	プールボックス	
ⓂOB	アウトレットボックス	
Ⓜ	露出丸ボックス	
Ⓜ	立上がり、立下がり	
Ⓜ	天井インベ配線、ケーブル配線	
Ⓜ	床インベ配線	
Ⓜ	露出配線	
Ⓜ	地中埋設配線	
Ⓜ	ケーブル配線	

撤去分電盤一覧表

Table with 7 columns: 盤名称, LMT-1(L-1), LMT-1(M-1), LMT-2(L-2), LMT-3(L-3), LMT-3(M-3), 2L-1. Rows include 主開閉器, 分岐開閉器, 材質・形状, 寸法.

Table with 7 columns: 盤名称, 3L-1, 空調分電盤, コンピューター室分電盤, M-2-1, M-3-1, リフト制御盤. Rows include 主開閉器, 分岐開閉器, 材質・形状, 寸法.

撤去照明器具一覧表

Table with 2 columns: 図面記号, 名称. Rows list various lighting fixtures like 1-22 (FL 20 W x 2 V型), 3-41 (FL 40 W x 1 黒板灯 埋込型), etc.

照明器具撤去については、PCB含有の調査を、十分現場確認を行った上で、撤去を行う。
又、調査の上、PCBが含有していた場合は監督職員と協議の上、監督職員の指示に従い、適切に指定場所に保管をする事。
又、上記PCB含有の標記、収納箱、運搬等は本工事で処理する事。

訂正

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

日 月

BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝 義

FILE No.

工事名

浅井中学校南校舎長寿命化改修工事 (電気設備)

電気設備工事

SCALE 1:1

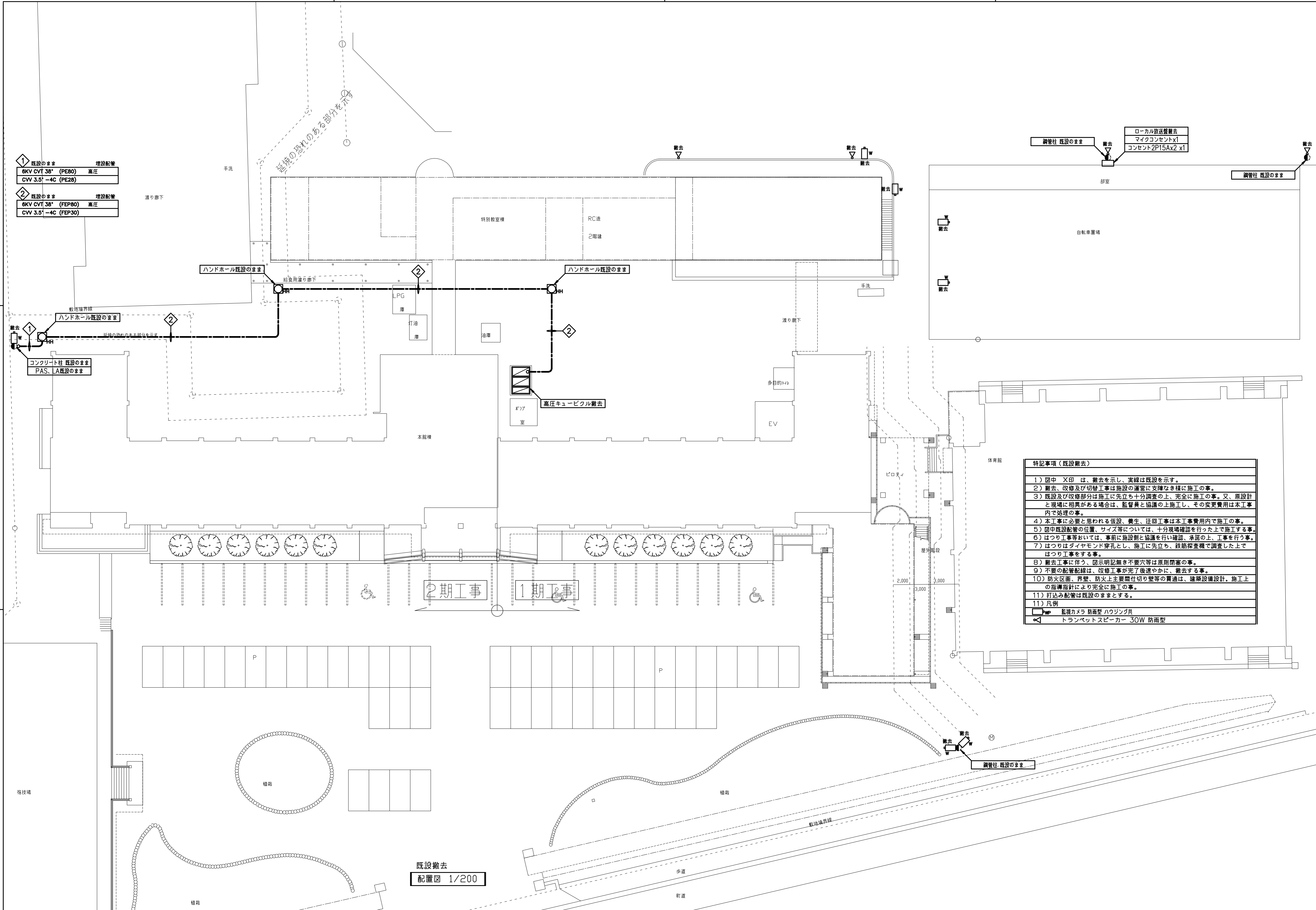
No. 80

E 1/151

DATE

既設撤去、脱着、移設端子盤一覧表

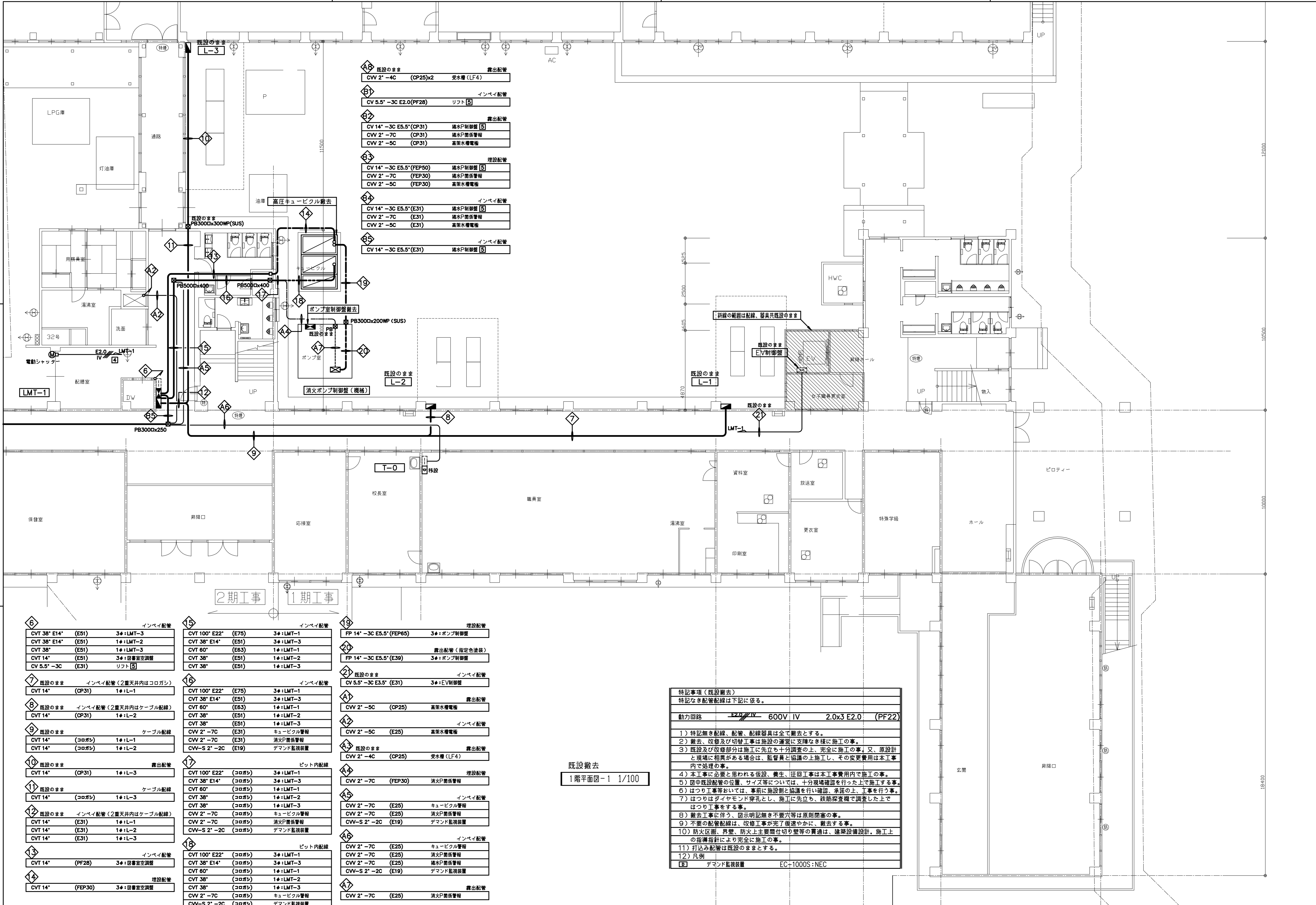
設備工事	端子盤	LMT-1 (T-1)	LMT-2 (T-2)	LMT-3 (T-3)	T-0	T-1-2	T-1-3	HUB収納盤1-1 (移設)	HUB収納盤1-2 (移設)	HUB収納盤2 (移設)
拡声設備工事	端子台取付	30P	端子台取付 20P	端子台取付 10P		端子台取付 50P				
時計設備工事	端子台取付	10P	端子台取付 10P	端子台取付 10P		端子台取付 10P				
電話設備工事	端子台取付	20P	端子台取付 10P		端子台取付 20P 電話主装置移設 MX-01:日立					
テレビ共聴設備工事	CS2 分岐器 x 1 CS4 分配器 x 1 TVブースター x 1	CS1 分岐器 x 2 CS4 分配器 x 1 TVブースター x 1	CS1 分岐器 x 2 CS4 分配器 x 1 TVブースター x 1	CS4 分配器 x 1	CS2 分配器 x 1	CS2 分配器 x 1				
インターホン設備工事				インターホン6局用(特別教室機用)移設 TD-6H:アイホン インターホン電源アダプター移設 PS-1225:アイホン インターホン電源アダプター VL-712A:ナショナル						
情報通信設備工事	HUB16ポートx1	HUB8ポートx1 HUB28ポートx1	HUB8ポートx1 HUB16ポートx1	ルーター移設 光変換器(情報通信用)移設 HUB8ポートx2移設 HUB16ポートx2移設	光変換器(電話用)移設 インターネット用アダプター移設 イントラ用アダプター移設	HUB8ポートx1 HUB16ポートx1	HUB10ポートx1	HUB28ポートx1		
自動火災報知設備工事				複合型受信機移設						
機械警備設備工事				端子台取付 20P 警備送受信機移設 非常電源装置移設						
端子盤形状	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、半埋込型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型	銅板製、屋内露出型
寸法	600Wx900Hx250D	600Wx2000Hx250D	600Wx1050Hx250D	1800Wx2000Hx450D	500Wx850Hx150D	500Wx500Hx140D	300Wx500Hx120D	550Wx580Hx190D	500Wx600Hx190D	



- ① 既設のまま 埋設配管
6KV CVT 38* (PEB0) 高圧
CVV 3.5' -4C (PE2B)
- ② 既設のまま 埋設配管
6KV CVT 38* (FEPB0) 高圧
CVV 3.5' -4C (FEP30)

特記事項（既設撤去）	
1)	図中 X印 は、撤去を示し、実線は既設を示す。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。
11)	凡例
	監視カメラ 防雨型 ハウジング共
	トランペットスピーカー 30W 防雨型

既設撤去
配置図 1/200

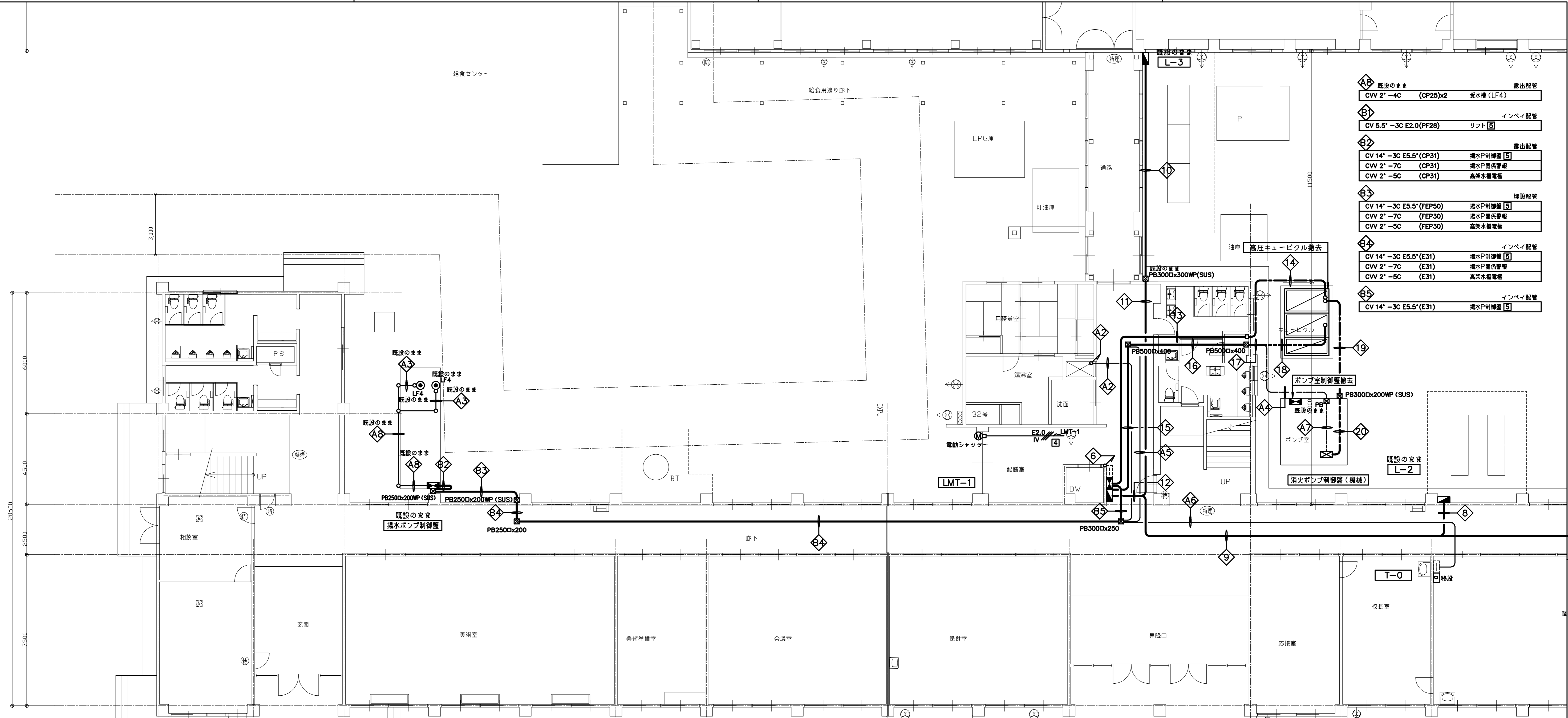


既設のまま	露出配管
CVV 2' -4C (CP25)x2	受水槽 (LF4)
既設のまま	インベイ配管
CV 5.5' -3C E2.0 (PF28)	リフト [5]
既設のまま	露出配管
CV 14' -3C E5.5' (CP31)	排水P制御盤 [5]
CVV 2' -7C (CP31)	排水P関係管
CVV 2' -5C (CP31)	高集水槽電極
既設のまま	埋設配管
CV 14' -3C E5.5' (FEP50)	排水P制御盤 [5]
CVV 2' -7C (FEP30)	排水P関係管
CVV 2' -5C (FEP30)	高集水槽電極
既設のまま	インベイ配管
CV 14' -3C E5.5' (E31)	排水P制御盤 [5]
CVV 2' -7C (E31)	排水P関係管
CVV 2' -5C (E31)	高集水槽電極
既設のまま	インベイ配管
CV 14' -3C E5.5' (E31)	排水P制御盤 [5]

特記事項 (既設撤去)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
動力回路	E2.0/IV 600V IV 2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。	
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工する事。	
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。	
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。	
5) 途中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。	
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。	
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。	
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。	
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。	
10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。	
11) 打込み配管は既設のままとする。	
12) 凡例	
[5]	ダイヤモンド監視装置 EC+1000S:NEC

既設撤去
1階平面図-1 1/100

6	インベイ配管	CVT 38' E14' (E51) 3φ:LMT-3	CVT 38' E14' (E51) 1φ:LMT-2	CVT 38' (E51) 1φ:LMT-3	CVT 14' (E51) 3φ:図書室空調機	CV 5.5' -3C (E31) リフト [5]
7	既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル)	CVT 14' (CP31) 1φ:L-1			
8	既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル)	CVT 14' (CP31) 1φ:L-2			
9	既設のまま	ケーブル配線	CVT 14' (コロガシ) 1φ:L-1	CVT 14' (コロガシ) 1φ:L-2		
10	既設のまま	露出配管	CVT 14' (CP31) 1φ:L-3			
11	既設のまま	ケーブル配線	CVT 14' (コロガシ) 1φ:L-3			
12	既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル)	CVT 14' (E31) 1φ:L-1	CVT 14' (E31) 1φ:L-2	CVT 14' (E31) 1φ:L-3	
13	既設のまま	インベイ配管	CVT 14' (PF28) 3φ:図書室空調機			
14	埋設配管	CVT 14' (FEP30) 3φ:図書室空調機				
15	インベイ配管	CVT 100' E22' (E75) 3φ:LMT-1	CVT 38' E14' (E51) 3φ:LMT-3	CVT 60' (E63) 1φ:LMT-1	CVT 38' (E51) 1φ:LMT-2	CVT 38' (E51) 1φ:LMT-3
16	インベイ配管	CVT 100' E22' (E75) 3φ:LMT-1	CVT 38' E14' (E51) 3φ:LMT-3	CVT 60' (E63) 1φ:LMT-1	CVT 38' (E51) 1φ:LMT-2	CVT 38' (E51) 1φ:LMT-3
17	インベイ配管	CVT 100' E22' (コロガシ) 3φ:LMT-1	CVT 38' E14' (コロガシ) 3φ:LMT-3	CVT 60' (コロガシ) 1φ:LMT-1	CVT 38' (コロガシ) 1φ:LMT-2	CVT 38' (コロガシ) 1φ:LMT-3
18	ピット内配線	CVT 100' E22' (コロガシ) 3φ:LMT-1	CVT 38' E14' (コロガシ) 3φ:LMT-3	CVT 60' (コロガシ) 1φ:LMT-1	CVT 38' (コロガシ) 1φ:LMT-2	CVT 38' (コロガシ) 1φ:LMT-3
19	埋設配管	FP 14' -3C E5.5' (FEP65) 3φ:ポンプ制御盤				
20	露出配管 (指定色塗装)	FP 14' -3C E5.5' (E39) 3φ:ポンプ制御盤				
21	既設のまま	インベイ配管	CV 5.5' -3C E3.5' (E31) 3φ:EV制御盤			
22	露出配管	CVW 2' -5C (CP25) 高集水槽電極				
23	インベイ配管	CVW 2' -5C (E25) 高集水槽電極				
24	露出配管	CVW 2' -4C (CP25) 受水槽 (LF4)				
25	埋設配管	CVW 2' -7C (FEP30) 消火P関係管				
26	インベイ配管	CVW 2' -7C (E25) キュービクル管	CVW 2' -7C (E25) 消火P関係管	CVW-S 2' -2C (E19) デマンド監視装置		
27	露出配管	CVW 2' -7C (E25) キュービクル管	CVW 2' -7C (E25) 消火P関係管	CVW-S 2' -2C (E19) デマンド監視装置		
28	露出配管	CVW 2' -7C (E25) キュービクル管	CVW 2' -7C (E25) 消火P関係管	CVW-S 2' -2C (E19) デマンド監視装置		
29	露出配管	CVW 2' -7C (E25) キュービクル管	CVW 2' -7C (E25) 消火P関係管	CVW-S 2' -2C (E19) デマンド監視装置		

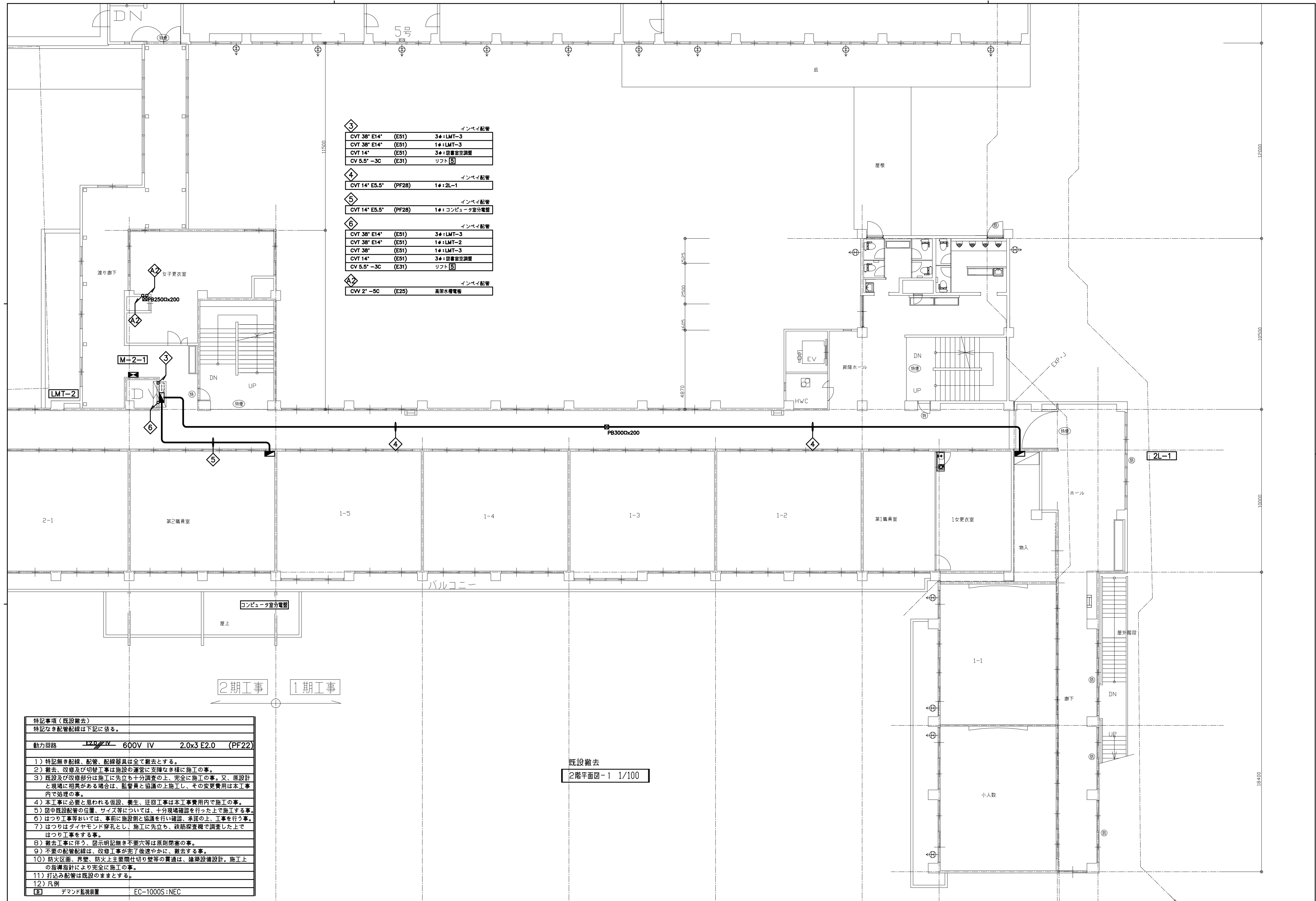


既設のまま	露出配管
CW 2'-4C (CP25)x2	受水槽 (LF4)
CV 5.5'-3C E2.0 (PF28)	リフト [5]
既設のまま	露出配管
CV 14'-3C E5.5' (CP31)	排水P制御盤 [5]
CW 2'-7C (CP31)	排水P関係管
CW 2'-5C (CP31)	高架水電管
既設のまま	埋設配管
CV 14'-3C E5.5' (FEP50)	排水P制御盤 [5]
CW 2'-7C (FEP30)	排水P関係管
CW 2'-5C (FEP30)	高架水電管
既設のまま	インベイ配管
CV 14'-3C E5.5' (E31)	排水P制御盤 [5]
CW 2'-7C (E31)	排水P関係管
CW 2'-5C (E31)	高架水電管
既設のまま	インベイ配管
CV 14'-3C E5.5' (E31)	排水P制御盤 [5]

既設のまま	インベイ配管	3φ: LMT-3 1φ: LMT-2 1φ: LMT-3
既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル配線)	3φ: 図書室空調機 リフト [5]
既設のまま	ケーブル配線	1φ: L-1 1φ: L-2
既設のまま	露出配管	1φ: L-3
既設のまま	ケーブル配線	1φ: L-3
既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル配線)	1φ: L-1 1φ: L-2 1φ: L-3
既設のまま	インベイ配管 (2重天井内はケーブル配線)	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	インベイ配管	3φ: 図書室空調機
既設のまま	埋設配管	3φ: 図書室空調機

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
動力回路	E2.0/IV	600V IV	2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、圧回工事は本工事費用内で施工の事。			
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、既設調査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11) 打込み配管は既設のままとする。			
12) 凡例			
[5]	ダイヤモンド監視装置	EC-1000S:NEC	

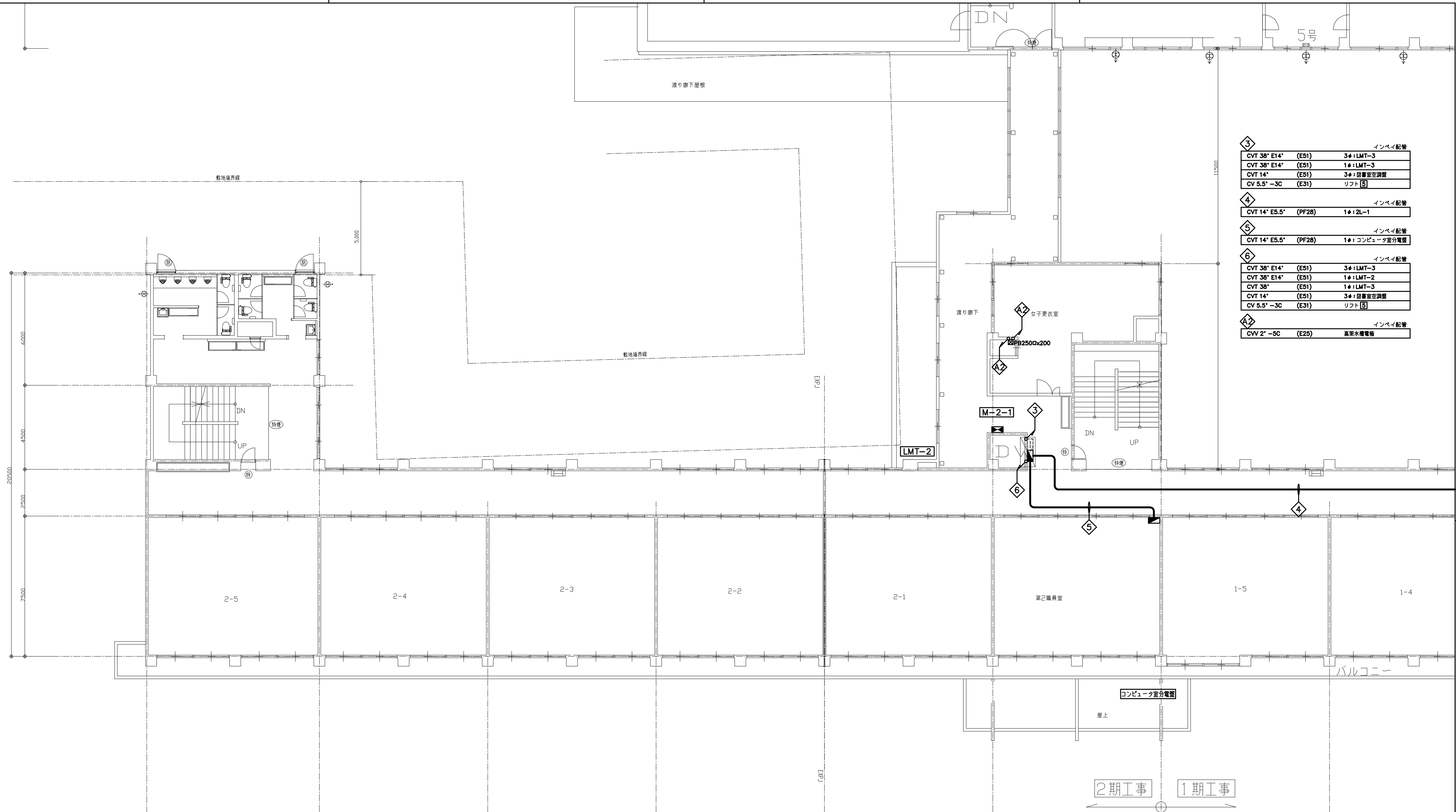
既設撤去
1階平面図-2 1/100



3	インベイ配管
CVT 38" E14" (E51)	3# : LMT-3
CVT 38" E14" (E51)	1# : LMT-3
CVT 14" (E51)	3# : 図書室空調機
CV 5.5" -3C (E31)	リフト 5
4	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF28)	1# : 2L-1
5	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF28)	1# : コンピュータ室分電盤
6	インベイ配管
CVT 38" E14" (E51)	3# : LMT-3
CVT 38" E14" (E51)	1# : LMT-2
CVT 38" (E51)	1# : LMT-3
CVT 14" (E51)	3# : 図書室空調機
CV 5.5" -3C (E31)	リフト 5
A2	インベイ配管
CVW 2" -5C (E25)	高架水電管

特記事項(既設撤去)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
動力回路	EV 600V IV 2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。	
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。	
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。	
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。	
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。	
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。	
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。	
8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。	
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。	
10) 防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。	
11) 打込み配管は既設のままとする。	
12) 凡例	デマンド監視装置 EC-1000S:NEC

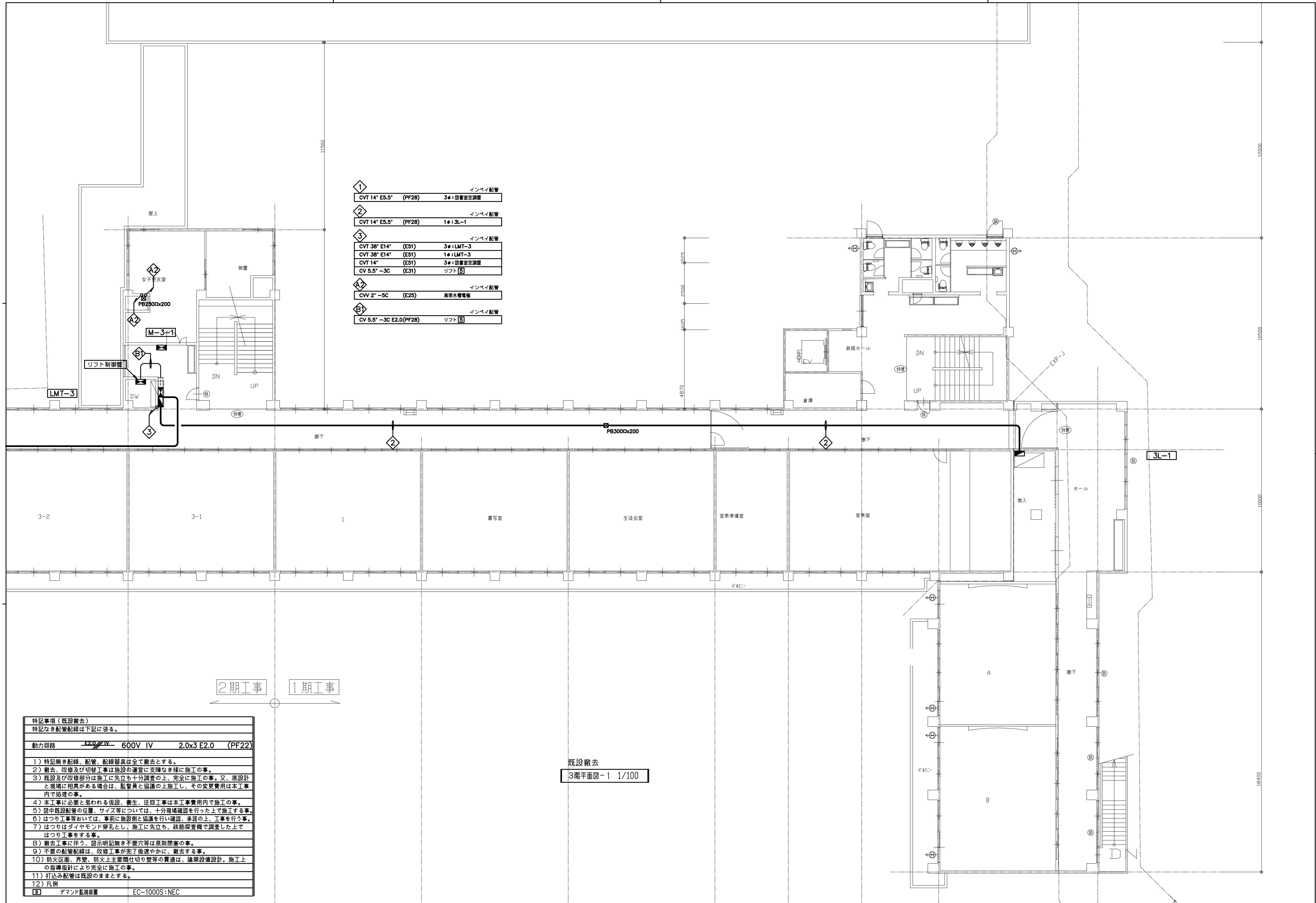
既設撤去
2階平面図-1 1/100



③	インベイ配管
CVT 38" E14" (E51)	3φ:LMT-3
CVT 38" E14" (E51)	1φ:LMT-3
CVT 14" (E51)	3φ:図書室空調盤
CV 5.5" -3C (E31)	リフト⑤
④	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF2B)	1φ:2L-1
⑤	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF2B)	1φ:コンピュータ室分電盤
⑥	インベイ配管
CVT 38" E14" (E51)	3φ:LMT-3
CVT 38" E14" (E51)	1φ:LMT-2
CVT 38" (E51)	1φ:LMT-3
CVT 14" (E51)	3φ:図書室空調盤
CV 5.5" -3C (E31)	リフト⑤
④②	インベイ配管
CVV 2" -5C (E25)	高圧水電極

既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
動力回路	EV-IV 600V IV 2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承認の上、工事を行う事。 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 11) 打込み配管は既設のままとする。 12) 凡例 [D] デマンド監視装置 EC-1000S:NEC	

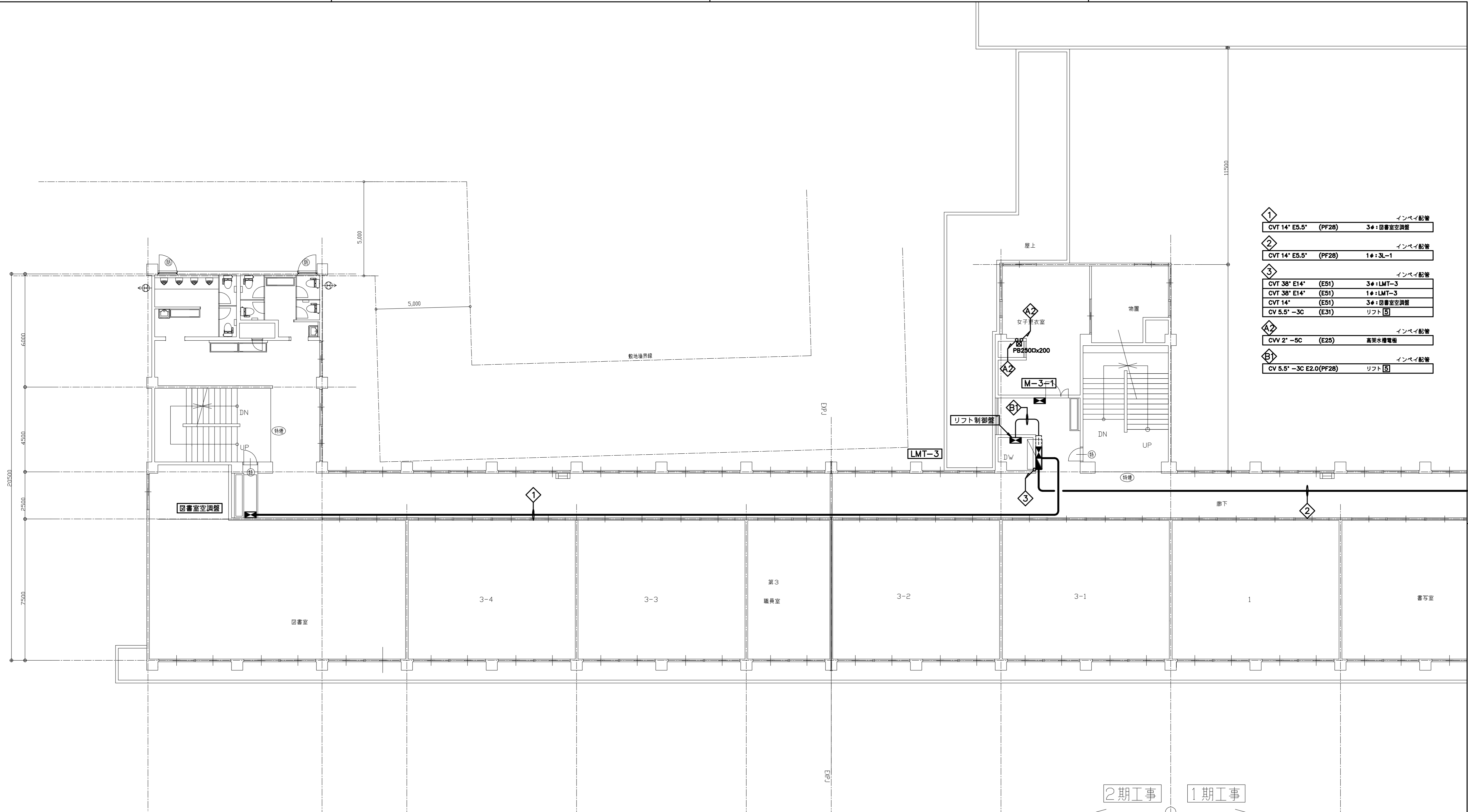


①	インベイ配管 CVT 14" E5.5" (PF28)	3# : 図書室空調機
②	インベイ配管 CVT 14" E5.5" (PF28)	1# : 3L-1
③	インベイ配管 CVT 38" E14" (E51) CVT 38" E14" (E51) CVT 14" (E51) CV 5.5" -3C (E31)	3# : LMT-3 1# : LMT-3 3# : 図書室空調機 リフト ⑤
④	インベイ配管 CVV 2" -5C (E25)	高圧水電機
⑤	インベイ配管 CV 5.5" -3C E2.0(PF28)	リフト ⑤

特記事項(既設撤去)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
動力回路	EX-IV 600V IV 2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記無き配線、配管、配線器具は全て撤去とする。	
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。	
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。	
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。	
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。	
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。	
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。	
8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。	
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。	
10) 防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。	
11) 打込み配管は既設のままとする。	
12) 凡例	
⑤	ダイヤモンド監視装置 EC-1000S:NEC

既設撤去
3階平面図-1 1/100

2期工事 1期工事



①	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF28)	3# :図書室空調機
②	インベイ配管
CVT 14" E5.5" (PF28)	1# :3L-1
③	インベイ配管
CVT 38" E14" (E51)	3# :LMT-3
CVT 38" E14" (E51)	1# :LMT-3
CVT 14" (E51)	3# :図書室空調機
CV 5.5" -3C (E31)	リフト ⑤
④	インベイ配管
CVV 2" -5C (E25)	高梁水機電機
⑤	インベイ配管
CV 5.5" -3C E2.0(PF28)	リフト ⑤

特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

動力回路	600V IV	2.0x3 E2.0 (PF22)
------	---------	-------------------

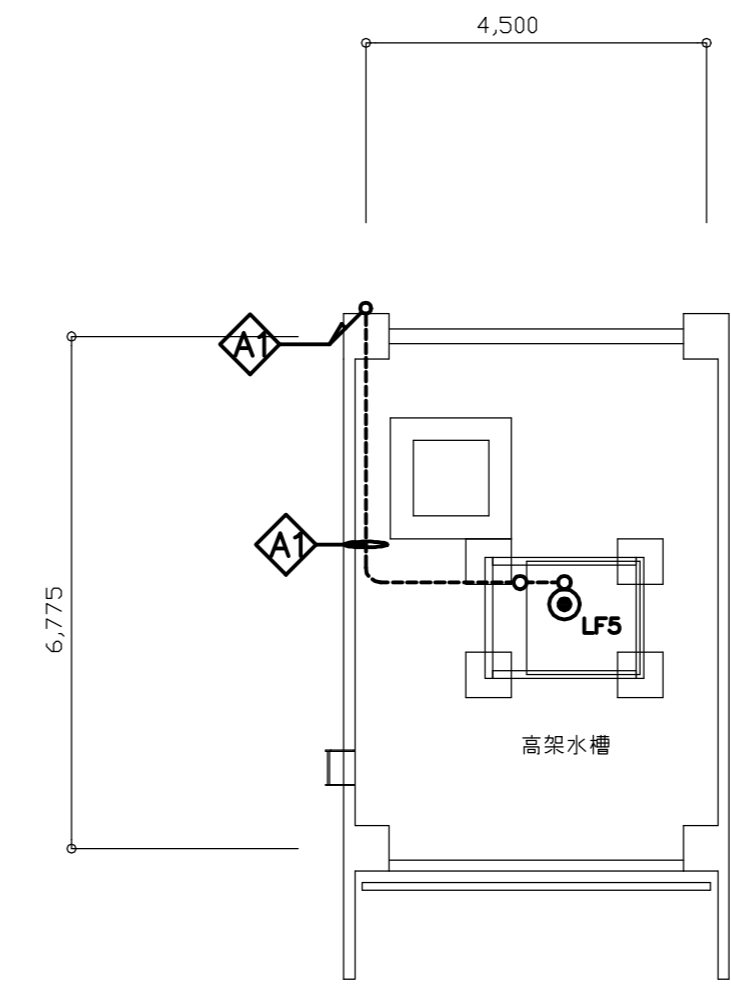
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。
- 12) 凡例

④	デマンド監視設置	EC-1000S:NEC
---	----------	--------------

既設撤去
3階平面図-2 1/100

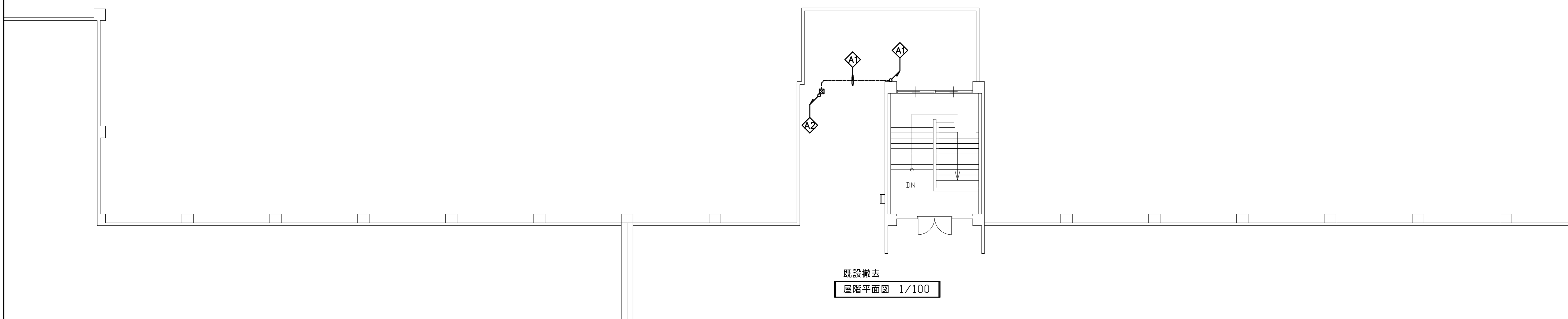
2期工事 1期工事

1	インベイ配管
CVT 14' E5.5' (PF28)	3φ:図書室空調機
2	インベイ配管
CVT 14' E5.5' (PF28)	1φ:3L-1
3	インベイ配管
CVT 38' E14' (E51)	3φ:LMT-3
CVT 38' E14' (E51)	1φ:LMT-3
CVT 14' (E51)	3φ:図書室空調機
CV 5.5'-3C (E31)	リフト[5]
4	インベイ配管
CVT 14' E5.5' (PF28)	1φ:2L-1
5	インベイ配管
CVT 14' E5.5' (PF28)	1φ:コンピュータ室分電盤
6	インベイ配管
CVT 38' E14' (E51)	3φ:LMT-3
CVT 38' E14' (E51)	1φ:LMT-2
CVT 38' (E51)	1φ:LMT-3
CVT 14' (E51)	3φ:図書室空調機
CV 5.5'-3C (E31)	リフト[5]
7	既設のまま
インベイ配管(2重天井内はコロガシ)	
CVT 14' (CP31)	1φ:L-1
8	既設のまま
インベイ配管(2重天井内はケーブル配線)	
CVT 14' (CP31)	1φ:L-2
9	既設のまま
ケーブル配線	
CVT 14' (コロガシ)	1φ:L-1
CVT 14' (コロガシ)	1φ:L-2
10	既設のまま
露出配管	
CVT 14' (CP31)	1φ:L-3
11	既設のまま
ケーブル配線	
CVT 14' (コロガシ)	1φ:L-3
12	既設のまま
インベイ配管(2重天井内はケーブル配線)	
CVT 14' (E31)	1φ:L-1
CVT 14' (E31)	1φ:L-2
CVT 14' (E31)	1φ:L-3
13	インベイ配管
CVT 14' (PF28)	3φ:図書室空調機
14	埋設配管
CVT 14' (FEP30)	3φ:図書室空調機
15	インベイ配管
CVT 100' E22' (E75)	3φ:LMT-1
CVT 38' E14' (E51)	3φ:LMT-3
CVT 60' (E63)	1φ:LMT-1
CVT 38' (E51)	1φ:LMT-2
CVT 38' (E51)	1φ:LMT-3
16	インベイ配管
CVT 100' E22' (E75)	3φ:LMT-1
CVT 38' E14' (E51)	3φ:LMT-3
CVT 60' (E63)	1φ:LMT-1
CVT 38' (E51)	1φ:LMT-2
CVT 38' (E51)	1φ:LMT-3
CVW 2'-7C (E31)	キュービクル警報
CVW 2'-7C (E31)	消火P磨係警報
CVW-S 2'-2C (E19)	デマンド監視装置
A	露出配管
CW 2'-5C (CP25)	高架水電極
A	インベイ配管
CW 2'-5C (E25)	高架水電極
A	既設のまま
露出配管	
CVW 2'-4C (CP25)	受水槽(LF4)
A	埋設配管
CVW 2'-7C (FEP30)	消火P磨係警報
A	インベイ配管
CVW 2'-7C (E25)	キュービクル警報
CVW 2'-7C (E25)	消火P磨係警報
CVW-S 2'-2C (E19)	デマンド監視装置
A	インベイ配管
CVW 2'-7C (E25)	キュービクル警報
CVW 2'-7C (E25)	消火P磨係警報
CVW 2'-7C (E25)	消火P磨係警報
CVW-S 2'-2C (E19)	デマンド監視装置
A	露出配管
CVW 2'-7C (E25)	消火P磨係警報
A	既設のまま
露出配管	
CVW 2'-4C (CP25)x2	受水槽(LF4)
A	インベイ配管
CV 5.5'-3C E2.0(PF28)	リフト[5]
A	露出配管
CV 14'-3C E5.5'(CP31)	給水P制御盤 [5]
CVW 2'-7C (CP31)	給水P磨係警報
CVW 2'-5C (CP31)	高架水電極
A	埋設配管
CV 14'-3C E5.5'(FEP50)	給水P制御盤 [5]
CVW 2'-7C (FEP30)	給水P磨係警報
CVW 2'-5C (FEP30)	高架水電極
A	インベイ配管
CV 14'-3C E5.5'(E31)	給水P制御盤 [5]
CVW 2'-7C (E31)	給水P磨係警報
CVW 2'-5C (E31)	高架水電極
A	インベイ配管
CV 14'-3C E5.5'(E31)	給水P制御盤 [5]

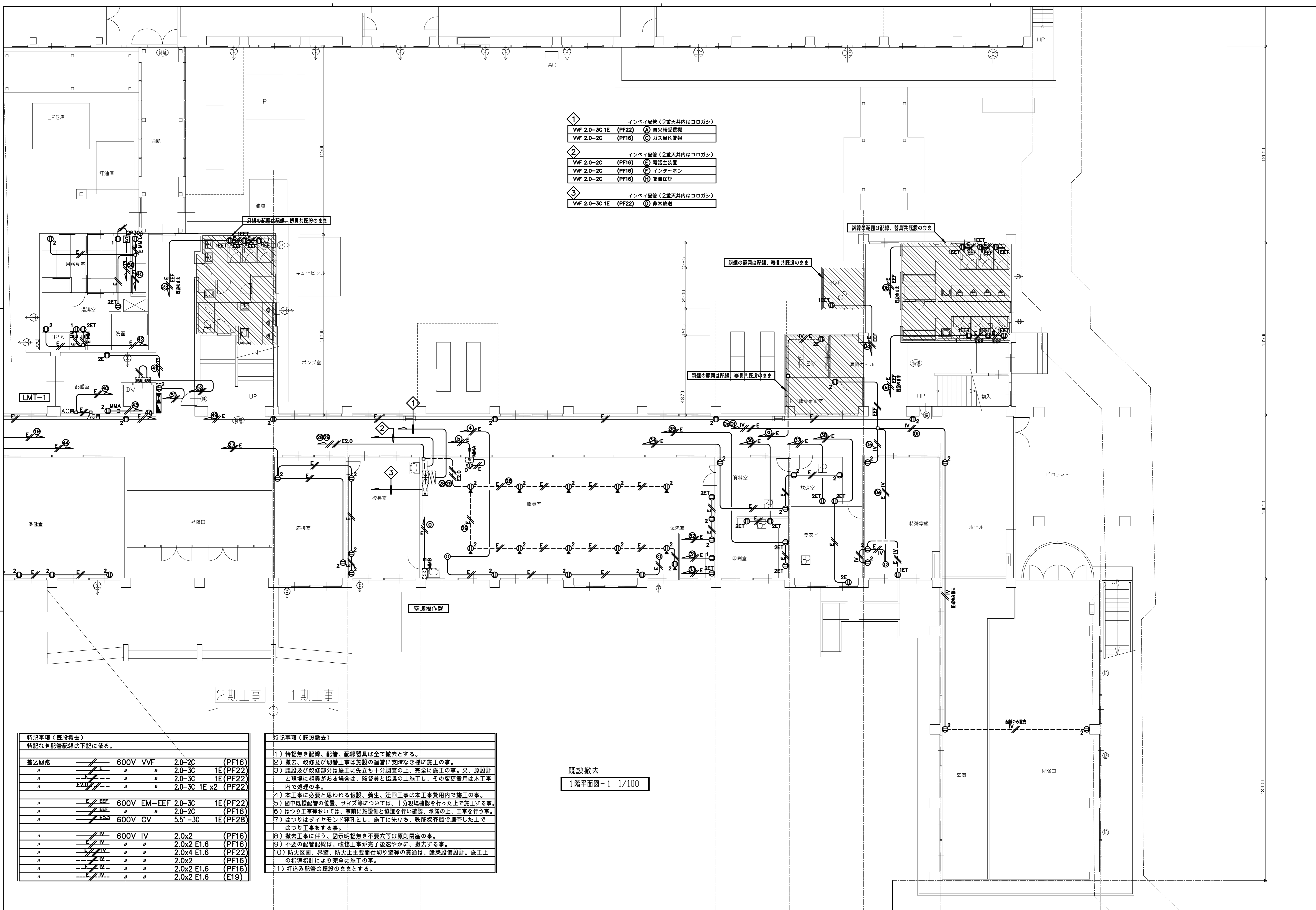


既設撤去
PHR階平面図 1/100

特記事項(既設撤去)		
特記なき配管配線は下記に依る。		
動力回路	E2.0/IV	600V IV 2.0x3 E2.0 (PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。		
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工する。		
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。		
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。		
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。		
6) はつり工事においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。		
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。		
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。		
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。		
10) 防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。		
11) 打込み配管は既設のままとする。		
12) 凡例		
[E]	デマンド監視装置	EC-1000S:NEC



既設撤去
R階平面図 1/100



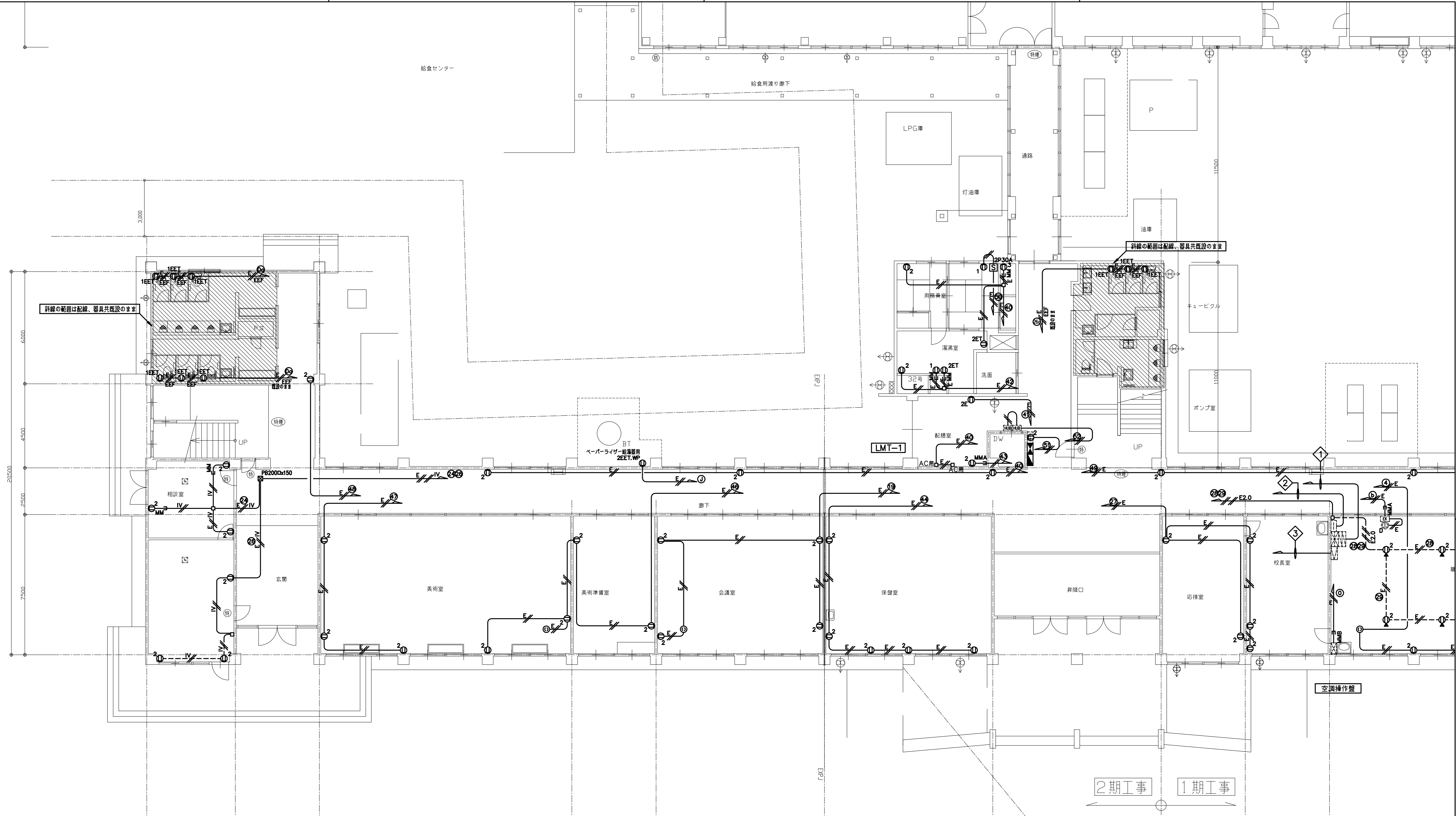
- ① インペイ配管（2重天井内はコロガシ）
VF 2.0-3C 1E (PF22) ④ 自火報知情報
VF 2.0-2C (PF16) ⑤ ガス漏れ警報
- ② インペイ配管（2重天井内はコロガシ）
VF 2.0-2C (PF16) ⑥ 電話主装置
VF 2.0-2C (PF16) ⑦ インターホン
VF 2.0-2C (PF16) ⑧ 警備保証
- ③ インペイ配管（2重天井内はコロガシ）
VF 2.0-3C 1E (PF22) ⑨ 非常放送

2期工事 1期工事

特記事項（既設撤去）			
特記なき配管配線は下記に依る。			
差込回路	600V VVF	2.0-2C (PF16)	
"	"	2.0-3C 1E (PF22)	
"	"	2.0-3C 1E (PF22)	
"	EZU	2.0-3C 1E x2 (PF22)	
"	600V EM-EEF	2.0-3C 1E (PF22)	
"	EEF	2.0-2C (PF16)	
"	ESD	600V CV 5.5'-3C 1E (PF28)	
"	600V IV	2.0x2 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (PF16)	
"	"	2.0x4 E1.6 (PF22)	
"	"	2.0x2 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (E19)	

- | 特記事項（既設撤去） | |
|------------|---|
| 1) | 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。 |
| 2) | 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 |
| 3) | 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 |
| 4) | 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。 |
| 5) | 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 |
| 6) | はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 |
| 7) | はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。 |
| 8) | 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。 |
| 9) | 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 |
| 10) | 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 |
| 11) | 打込み配管は既設のままとする。 |

既設撤去
1階平面図-1 1/100

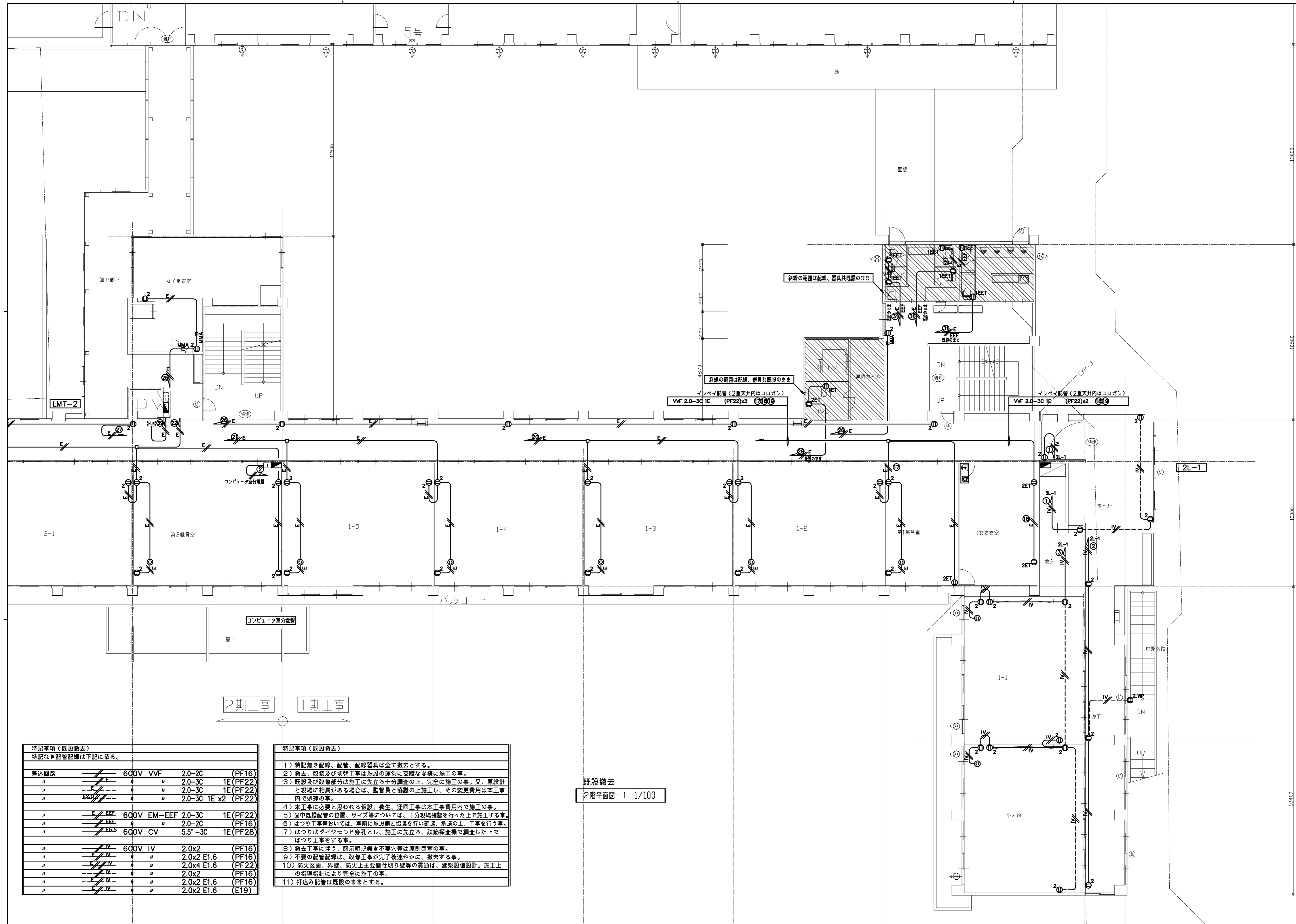


既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項（既設撤去）
特記なき配管配線は下記に依る。

差込回路		600V VVF	2.0-2C	1E(PF16)
"		600V EM-EEF	2.0-3C	1E(PF22)
"		600V EM-EEF	2.0-3C	1E(PF22)
"		600V CV	2.0-3C 1E x2	(PF22)
"		600V IV	2.0x2	(PF16)
"		600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
"		600V IV	2.0x4 E1.6	(PF22)
"		600V IV	2.0x2	(PF16)
"		600V IV	2.0x2 E1.6	(PF16)
"		600V IV	2.0x2 E1.6	(E19)

- 特記事項（既設撤去）
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

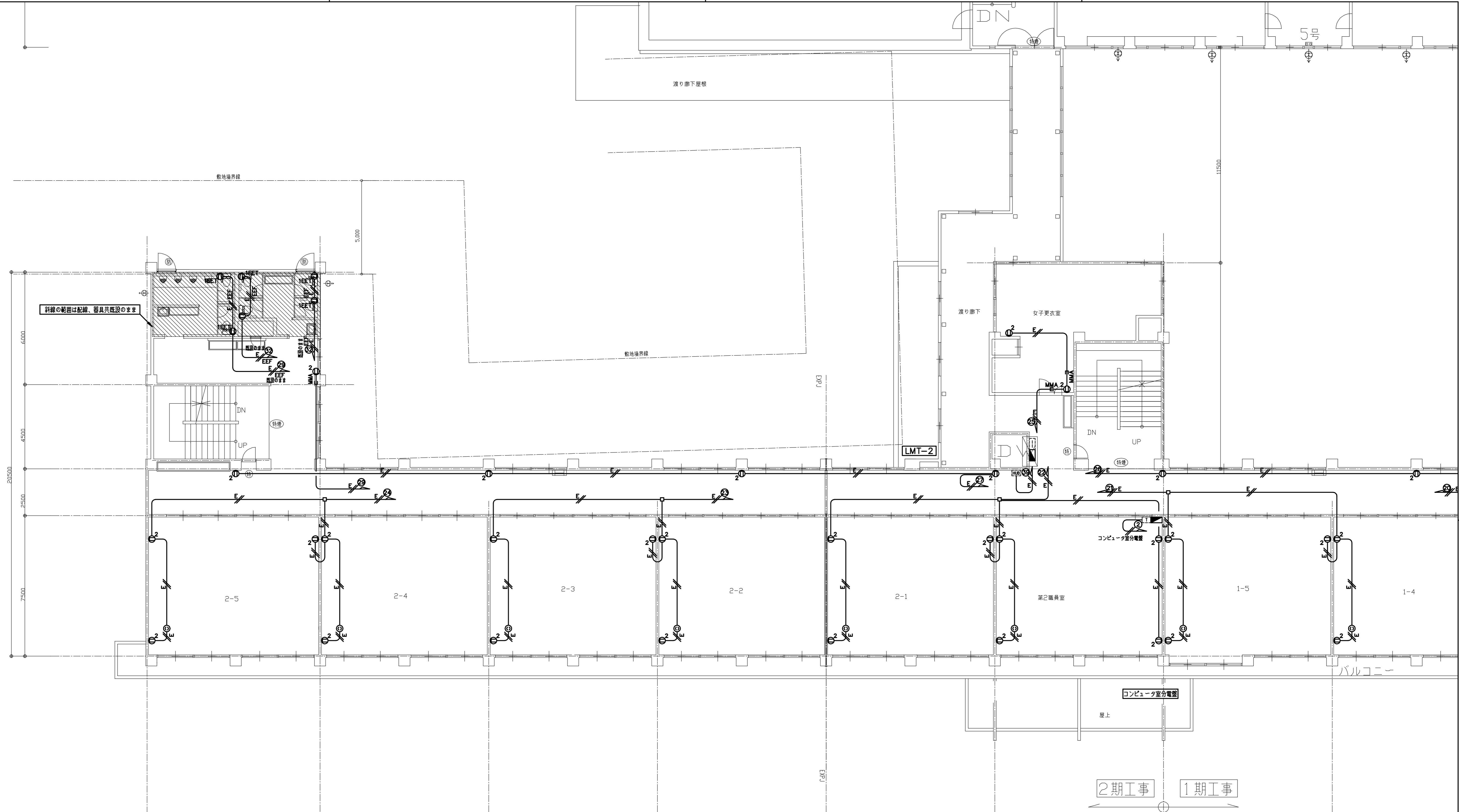


既設撤去
2階平面図-1 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
差込回路	600V VVF	2.0-2C (PF16)	
"	"	2.0-3C 1E (PF22)	
"	"	2.0-3C 1E (PF22)	
"	EZU	2.0-3C 1E x2 (PF22)	
"	600V EM-EEF 2.0-3C 1E (PF22)		
"	600V CV	5.5'-3C 1E (PF28)	
"	600V IV	2.0x2 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (PF16)	
"	"	2.0x4 E1.6 (PF22)	
"	"	2.0x2 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (PF16)	
"	"	2.0x2 E1.6 (E19)	

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

2期工事 1期工事



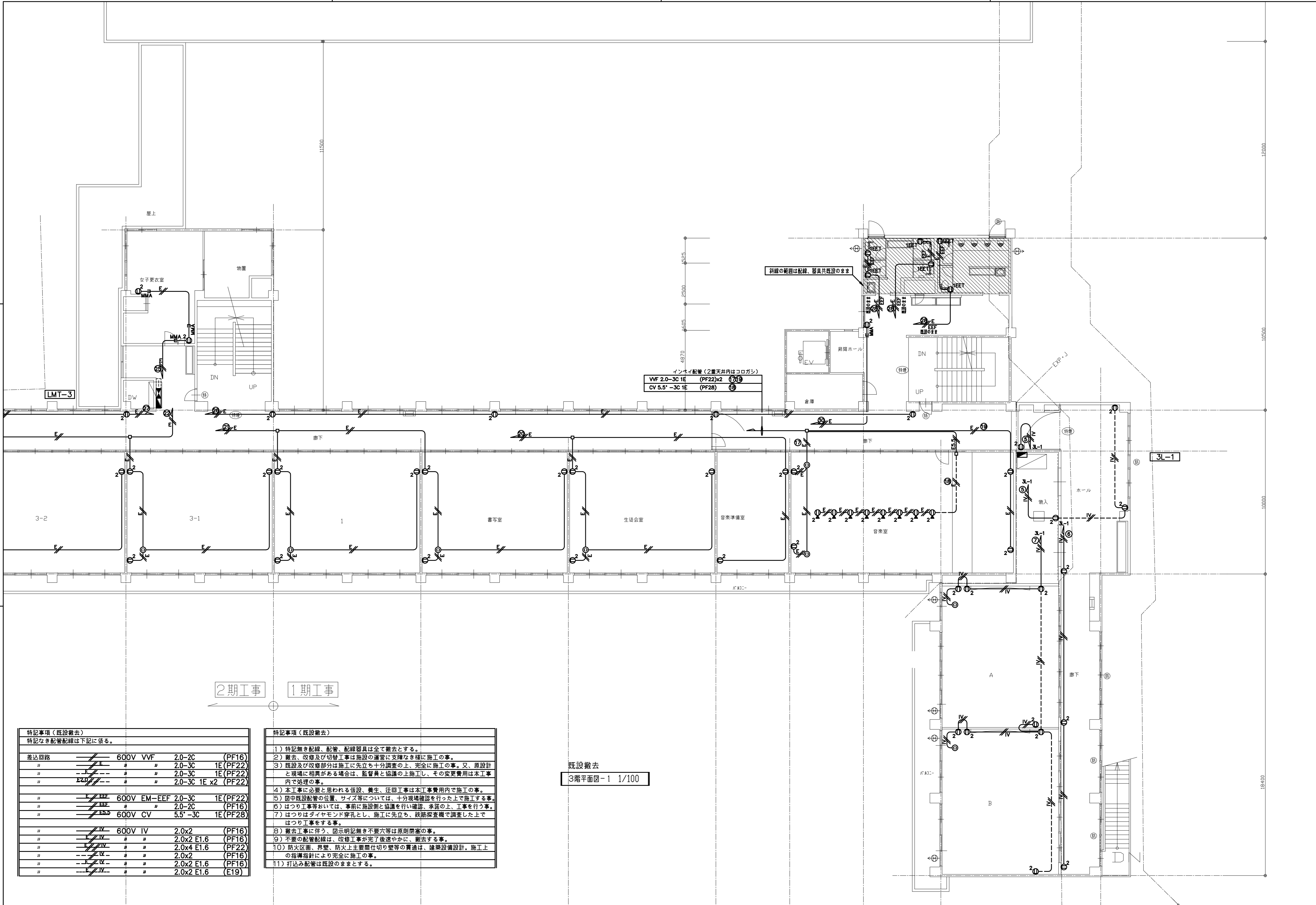
斜線の範囲は配線、器具共既設のまま

既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項（既設撤去）			
特記なき配管配線は下記に依る。			
差込回路		600V VVF	2.0-2C (PF16)
"		"	2.0-3C 1E (PF22)
"		"	2.0-3C 1E (PF22)
"		"	2.0-3C 1E x2 (PF22)
"		600V EM-EEF	2.0-3C 1E (PF22)
"		"	2.0-2C (PF16)
"		600V CV	5.5'-3C 1E (PF28)
"		600V IV	2.0x2 (PF16)
"		"	2.0x2 E1.6 (PF16)
"		"	2.0x4 E1.6 (PF22)
"		"	2.0x2 (PF16)
"		"	2.0x2 E1.6 (PF16)
"		"	2.0x2 E1.6 (E19)

特記事項（既設撤去）	
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工する事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、界壁、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。

2期工事 1期工事



インペイ配管(2重天井内はコロガシ)
 VVF 2.0-3C 1E (PF22)x2 (E19)
 CV 5.5'-3C 1E (PF28) (E18)

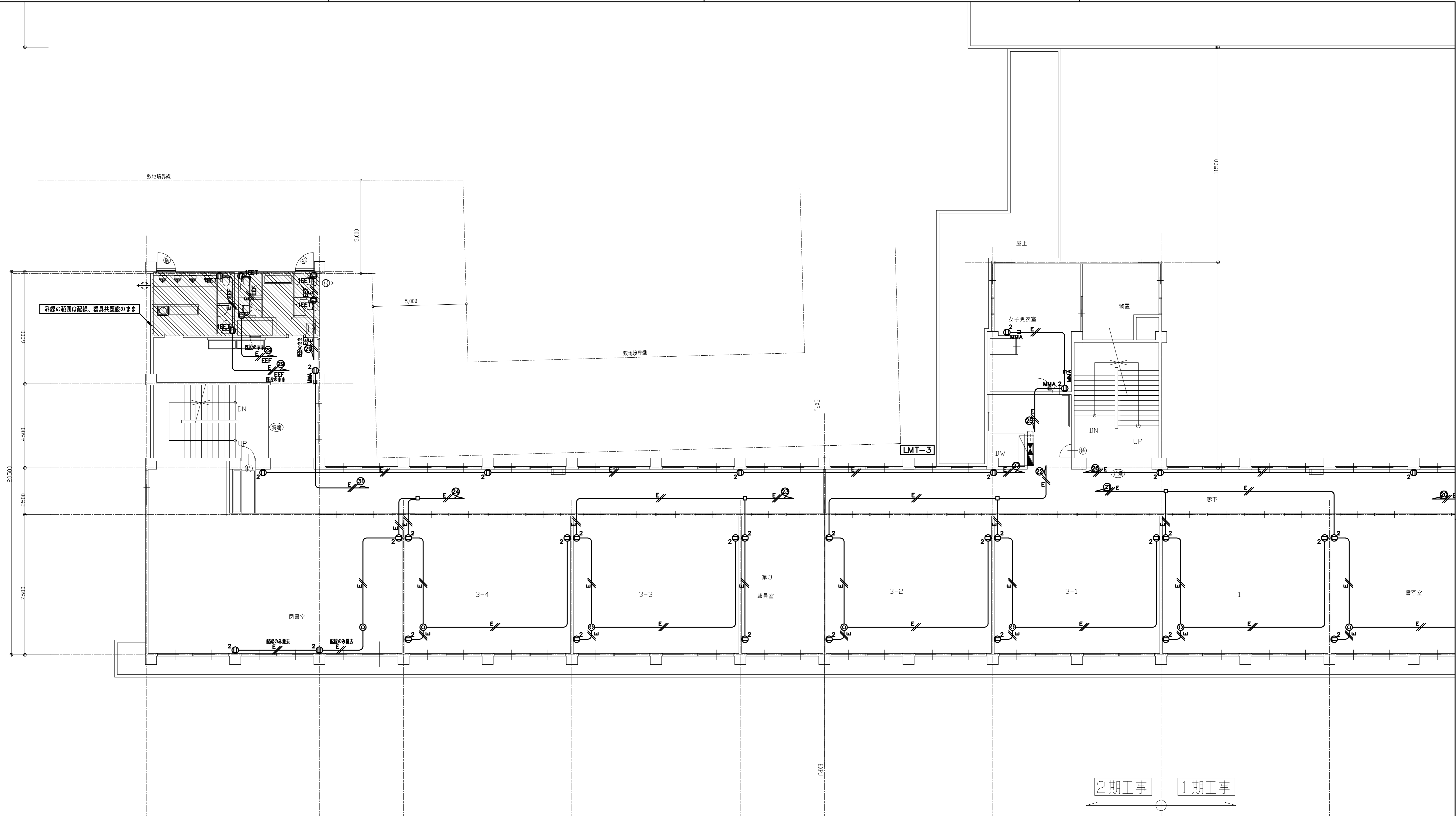
斜線の範囲は配線、器具共既設のまま

2期工事 1期工事

既設撤去
 3階平面図-1 1/100

特記事項(既設撤去)				
特記なき配管配線は下記に依る。				
差込回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)	
〃	〃	2.0-3C	1E(PF22)	
〃	〃	2.0-3C	1E(PF22)	
〃	EZU	2.0-3C 1E x2	(PF22)	
〃	600V EM-EFF	2.0-3C	1E(PF22)	
〃	〃	2.0-2C	(PF16)	
〃	600V CV	5.5'-3C	1E(PF28)	
〃	600V IV	2.0x2	(PF16)	
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)	
〃	〃	2.0x4 E1.6	(PF22)	
〃	〃	2.0x2	(PF16)	
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)	
〃	〃	2.0x2 E1.6	(E19)	

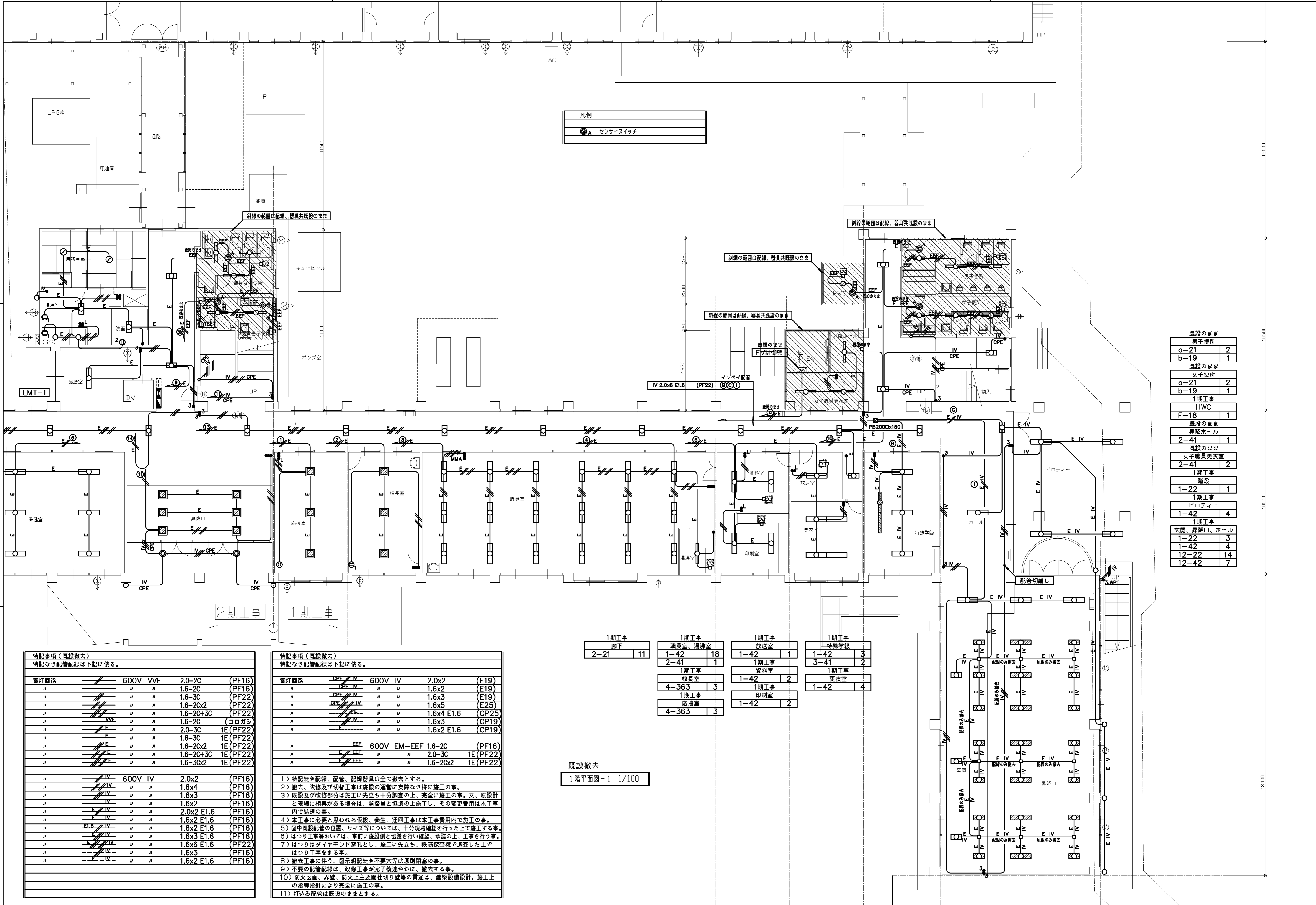
特記事項(既設撤去)				
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。			
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をとする事。			
8)	撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10)	防火区画、界壁、防火上主要部仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11)	打込み配管は既設のままとする。			



既設撤去
3階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
差込回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
"	"	2.0-3C	1E(PF22)
"	"	2.0-3C	1E(PF22)
"	E2.0	2.0-3C 1E x2	(PF22)
"	600V EM-EFF	2.0-3C	1E(PF22)
"	E2.0	2.0-2C	(PF16)
"	600V CV	5.5'-3C	1E(PF28)
"	600V IV	2.0x2	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
"	"	2.0x4 E1.6	(PF22)
"	"	2.0x2	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
"	"	2.0x2 E1.6	(E19)

特記事項 (既設撤去)	
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、界壁、防火上主要箇所切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。



凡例
 ⓈA センサースイッチ

既設のまま	男子便所	
a-21		2
b-19		1
既設のまま	女子便所	
a-21		2
b-19		1
1期工事	HWC	
F-18		1
既設のまま	昇降ホール	
2-41		1
既設のまま	女子職員更衣室	
2-41		2
1期工事	階段	
1-22		1
1期工事	ピロティ	
1-42		4
1期工事	玄関、昇降口、ホール	
1-22		3
1-42		4
12-22		14
12-42		7

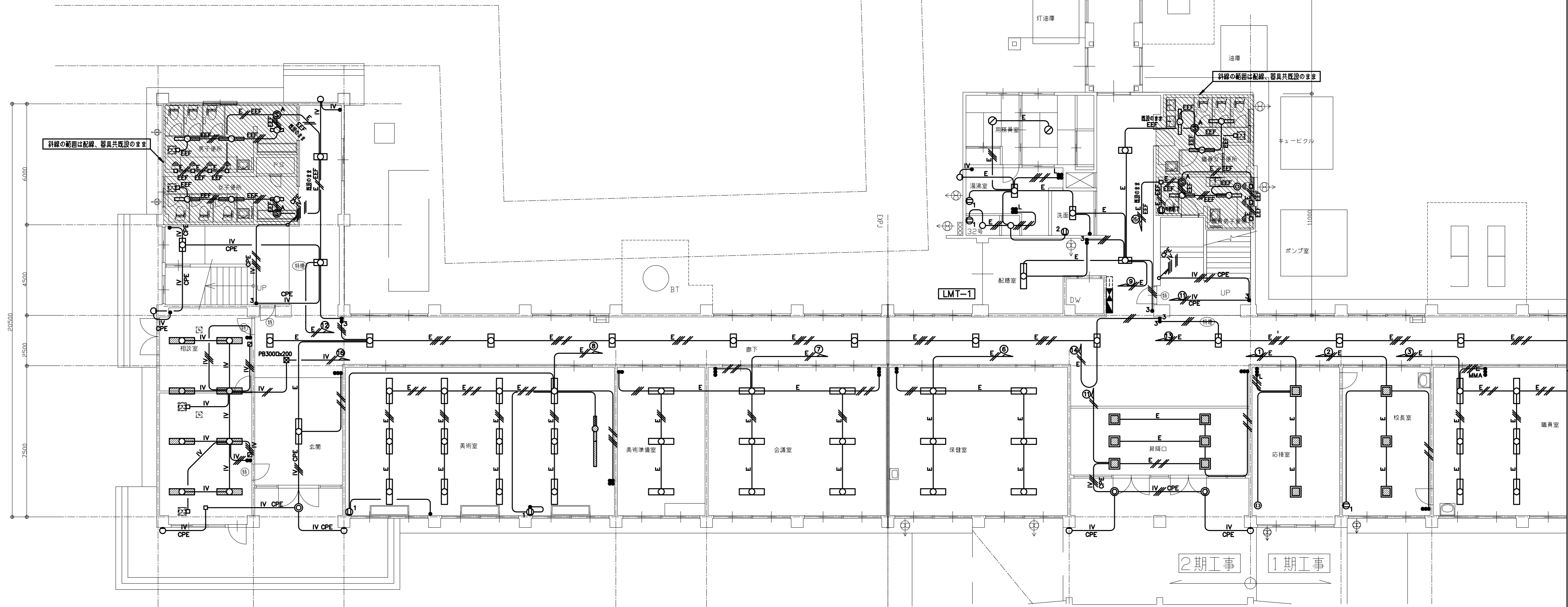
特記事項(既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
〃	〃	1.6-2C	(PF16)
〃	〃	1.6-3C	(PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2	(PF22)
〃	〃	1.6-2C+3C	(PF22)
〃	VVF	1.6-2C	(コロガシ)
〃	〃	2.0-3C	1E(PF22)
〃	〃	1.6-3C	1E(PF22)
〃	〃	1.6-2Cx2	1E(PF22)
〃	〃	1.6-2C+3C	1E(PF22)
〃	〃	1.6-3Cx2	1E(PF22)
〃	600V IV	2.0x2	(PF16)
〃	〃	1.6x4	(PF16)
〃	〃	1.6x3	(PF16)
〃	〃	1.6x2	(PF16)
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)
〃	〃	1.6x2 E1.6	(PF16)
〃	〃	1.6x3 E1.6	(PF16)
〃	〃	1.6x6 E1.6	(PF22)
〃	〃	1.6x3	(PF16)
〃	〃	1.6x2 E1.6	(PF16)

特記事項(既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	CPE/IV	600V IV	2.0x2 (E19)
〃	〃	〃	1.6x2 (E19)
〃	〃	〃	1.6x3 (E19)
〃	〃	〃	1.6x5 (E25)
〃	〃	〃	1.6x4 E1.6 (CP25)
〃	〃	〃	1.6x3 (CP19)
〃	〃	〃	1.6x2 E1.6 (CP19)
〃	EEF	600V EM-EEF	1.6-2C (PF16)
〃	〃	〃	2.0-3C 1E(PF22)
〃	〃	〃	1.6-2Cx2 1E(PF22)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。			
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11) 打込み配管は既設のままとする。			

1期工事		1期工事		1期工事		1期工事	
廊下	2-21	職員室、湯沸室	1-42	放送室	1-42	特殊学級	1-42
	11		18		1		3
			1		1期工事		2
			3		資料室		2
			3		1期工事		2
			3		印刷室		2
			3		1-42		2

既設撤去
 1階平面図-1 1/100

既設のまま 男子便所 a-21 2 b-19 1	2期工事 玄関 1-42 1 10-30W 1	2期工事 会議室 1-42 6 2期工事 保健室 1-42 6	2期工事 用務員室 8-4132 2 2期工事 洗面、湯沸室 1-22 2 9-60 2	既設のまま 職員女子便所 a-21 3 既設のまま 職員男子便所 a-21 2 2期工事 廊下 2-21 13	2期工事 給食用渡り廊下 2-21 2 2期工事 昇降口 1-42 12 3-41 2
既設のまま 女子便所 a-21 2 b-19 1	2期工事 美術室 1-42 12 3-41 2	2期工事 美術準備室 1-42 3	2期工事 配膳室 1-42 1		
2期工事 階段 1-22 1					
2期工事 相談室 B-42 8					



既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項（既設撤去）				
特記なき配管配線は下記に依る。				
電灯回路	IV	600V VVF	2.0-2C	(PF16)
	IV	"	1.6-2C	(PF16)
	IV	"	1.6-3C	(PF22)
	IV	"	1.6-2Cx2	(PF22)
	IV	"	1.6-2C+3C	(PF22)
	IV	VVF	1.6-2C	(コログシ)
	E	"	2.0-3C	1E (PF22)
	E	"	1.6-3C	1E (PF22)
	E	"	1.6-2Cx2	1E (PF22)
	E	"	1.6-2C+3C	1E (PF22)
	E	"	1.6-3Cx2	1E (PF22)
	IV	600V IV	2.0x2	(PF16)
	IV	"	1.6x4	(PF16)
	IV	"	1.6x3	(PF16)
	IV	"	1.6x2	(PF16)
	E	"	2.0x2 E1.6	(PF16)
	E	"	1.6x2 E1.6	(PF16)
	E	"	1.6x2 E1.6	(PF16)
	E	"	1.6x3 E1.6	(PF16)
	E	"	1.6x6 E1.6	(PF22)
	E	"	1.6x3	(PF16)
	E	"	1.6x2 E1.6	(PF16)

特記事項（既設撤去）				
特記なき配管配線は下記に依る。				
電灯回路	CPE	600V IV	2.0x2	(E19)
	IV	"	1.6x2	(E19)
	IV	"	1.6x3	(E19)
	IV	"	1.6x5	(E25)
	IV	"	1.6x4 E1.6	(CP25)
	IV	"	1.6x3	(CP19)
	E	"	1.6x2 E1.6	(CP19)
	EEF	600V EM-EEF	1.6-2C	(PF16)
	E	"	2.0-3C	1E (PF22)
	E	"	1.6-2Cx2	1E (PF22)

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。